

大阪府特定外来生物 ⚠️ アラートリスト



2023年6月
大阪府

はじめに

特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）に基づき、環境省は、日本の在来生物の生態系や、人の生命・身体、農林水産業関連に被害を及ぼすおそれのあるものとして生物156種（令和3年8月現在）を特定外来生物に指定しており、そのうち大阪府内では34種（令和5年6月に指定の2種含む）の目撃や被害情報があります。

過去より野外に放たれたり、逃げ出したりした特定外来生物は、放置しておくとも分布を拡大しながら、在来種（その土地に元からいた生物）の生息・生育を脅かしたり、農林水産業、人の健康などに様々な被害を及ぼすおそれがあります。特定外来生物の防除はこうした被害を軽減し、生物多様性を維持するためにも重要です。

アラートリストとは

大阪府内で確認されている特定外来生物について、特徴や現在の対策、及び分布情報を取りまとめるとともに、見つけた場合の対応等を「アラートリスト」として取りまとめました。

健康被害 ・ 農林水産業被害 ・ 生態系被害 それぞれの影響の大きさを示し、健康被害が大きい種については、見つけたら場所に関係なく速やかに防除することが必要です。一方、農林水産業被害が大きい種については、農地や河川での防除が、生態系被害が大きい種については、希少種が多く残る区域での防除が優先されます。大阪府では本リストをもとに、被害が大きい種から優先的に、対策の検討を進めています。

～見つけた場合のお願い～

特定外来生物を見つけた際は、本リストに記載している内容に従い、
①捕獲や刈取等による駆除、②市町村等への連絡をお願いします。

目次

外来生物ってな～に	1
ページの見方	6
(哺乳類)	
1.アライグマ	7
2.ヌートリア	8
3.クリハラリス	9
(鳥類)	
4.ソウシチョウ	10
(爬虫類)	
5.カミツキガメ	11
(両生類)	
6.ウシガエル	12
(魚類)	
7.チャネルキャットフィッシュ	13
8.コクチバス	14
9.オオクチバス	15
10.ブルーギル	16
11.アリゲーターガー	17
12.カダヤシ	18
(昆虫類)	
13.クビアカツヤカミキリ	19
14.ハヤトゲフシアリ	20
15.アルゼンチンアリ	21
16.アカカミアリ	22
17.ヒアリ	23
(クモ類)	
18.セアカゴケグモ	24
19.ハイイロゴケグモ	25
(貝類)	
20.カワヒバリガイ	26
(植物類)	
21.アゾラクリスタータ	27
22.ナガエツルノゲイトウ	28
23.ミズヒマワリ	29
24.オオフサモ	30
25.エフクレタヌキモ	31
26.アレチウリ	32
27.オオキンケイギク	33
28.オオハンゴウソウ	34
29.ナルトサワギク	35
30.オオバナミズキンバイ	36
31.オオカワヂシャ	37
32.ボタンウキクサ	38
(条件付特定外来生物)	
33.ミシシippアカミミガメ	39
34.アメリカザリガニ	40

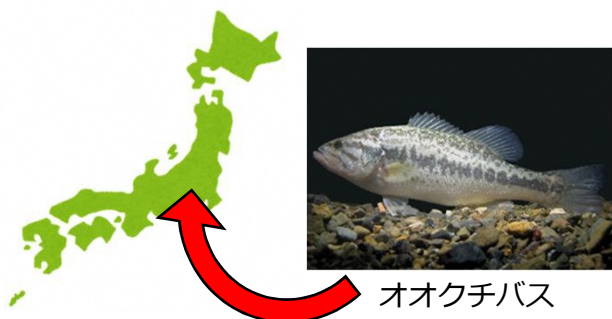
外来生物ってな～に

《外来生物とは》

外来生物は意図的・非意図的に関わらず人間によって持ち込まれた生物です。ただし、渡り鳥や海流によってやってくる魚や植物の種子のように自ら移動するものは外来生物ではありません。外国から持ち込まれたものは『国外外来生物』、日本の他の地域から持ち込まれたものは『国内外来生物』と呼ばれています。ただし、外来生物でも、農作物や家畜、ペット、動物園の生き物のように、適正に管理され、有益なものもあります。

国外外来生物

外国から日本に持ち込まれた



国内外来生物

日本の他の場所から持ち込まれた



《特定外来生物とは》

2004年6月に特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）が制定され、その中で、国外外来種のうち、分布の拡大や繁殖により、日本に元々成立していた生態系や人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがある生物について、「特定外来生物」に指定されることとなりました。なお、特定外来生物は、生きているものに限られますが、個体そのものではなく、卵、種子、器官なども含まれます。



ウシガエル



オオクチバス



アライグマ



クビアカツヤカミキリ

《外来生物はどこからやってくるの?》

《意図的な導入》

- ・ ペットや家畜として
- ・ 緑化や園芸のため
- ・ 漁業での養殖のため
- ・ 釣りなどのレジャーのため
- ・ 植物や害虫、加害動物を駆除する天敵として利用するため

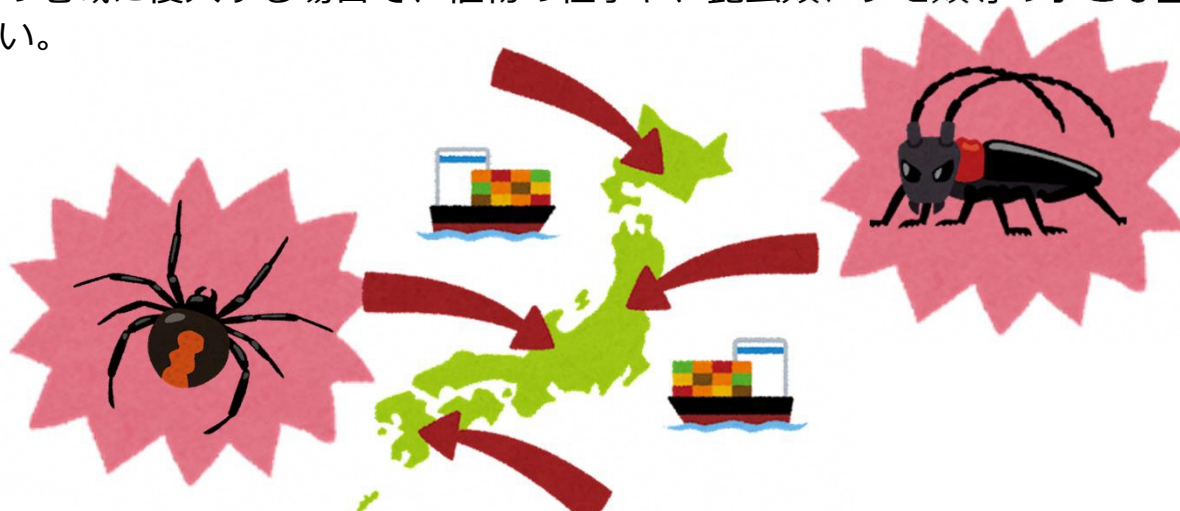
外国からやってきた個体が、野外に放されたり、植栽されることや、囲われた場所で飼育していても、管理が不十分でそれが逃げ出したり、誤って放たれてしまう場合があります。



《非意図的な導入》

- ・ 外国の船舶のバラスト水に混入して
- ・ 積み荷やコンテナに付着して
- ・ 宿主動物に寄生虫として

人や物が移動するときに、荷物や乗り物などに付着、寄生や紛れ込むなどして、他の地域に侵入する場合で、植物の種子や、昆虫類、クモ類等の小さな生物が多い。



《外来生物による被害》

外来生物の中には人と動物の共通感染症の感染源となるなど健康被害を起こすおそれがあるものもある。また、農林水産業に被害を発生させたり、その競争能力・繁殖能力の高さや、捕食性の強さによって在来種の生息・生育に悪影響を及ぼすものも多く見られる。こうした外来生物がもたらす被害には大きく分けて以下の3種類になります。

○人の健康への影響

毒をもっている外来生物に噛まれたり、鋭いとげなどで刺されたりする危険があることや、糞尿による生活被害が発生します。また本来、日本に存在しなかった病気や感染症を持ち込むことによる発症等の危険が増加します。



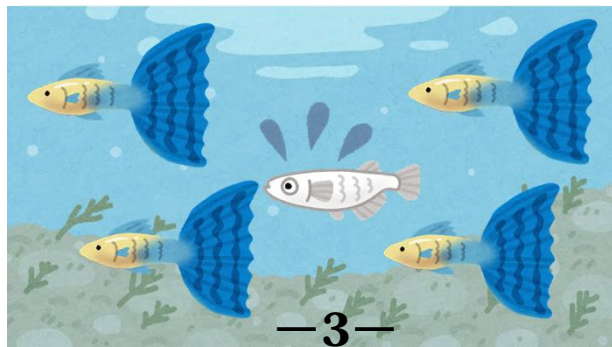
○農林水産業への影響

農作物を食べたり、畑を踏み荒らすことや、農林水産業の対象となる生物を捕食したり、危害を加える事で影響を与えます。



○生態系への影響

外来生物が元々その地域にいる在来生物を捕食したり、生息・生育地を奪うことで、その数を減らしたり、絶滅に迫りやすることや、交雑して雑種を作ってしまう、在来生物の遺伝的な独自性が損なわれることなど、今まで保たれていた自然のバランスが崩れてしまいます。



《特定外来生物に関する規制事項》

○飼育、栽培、保管及び運搬することが原則禁止されます。



○輸入することが原則禁止されます。

○野外へ放つ、植える及びまくことが原則禁止されます。



○許可を受けて飼養等をする者が、許可を持っていない者に対して譲渡し、引渡しなどをすることが禁止されます。

○販売することが禁止されます。



※「アカミガメ」
「アメリカザリガニ」は
条件付特定外来生物
詳しくは



《外来生物法に関する罰則は？》

○個人の場合
3年以下の懲役、
最高で300万円
以下の罰金

○法人の場合
最高で1億円の罰金



《外来種被害予防三原則とは？》

『入れない』

生態系や農林水産業、人的な被害や影響を及ぼすことが予想される外来種については、法律で持ち込むことが規制されています。しかしながら、それ以外の外来種であっても、悪影響を及ぼす危険性があるため、むやみに外来種を入れないことが大切です。



『捨てない』

動物を飼うときは、成長した際の体の大きさや、こどもが生まれた時のことを考え、最後まで責任をもって飼うことができるかをよく考える必要があります。また、飼いきれずに途中で野外に放してはいけません。



『拡げない』

既に野外で生息・生育し、繁殖してしまっている外来種の場合は、人間が誤って運んでしまい、分布を拡げないように注意が必要です。決して今生息・生育している場所から拡げないことが大切です。



☆ページの見方

1.アライグマ

原産：北アメリカ・中央アメリカ

どんな生き物？



タヌキ アライグマ

足あと

(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害 🔥🔥🔥

農林水産業被害 🔥🔥🔥

生態系被害 🔥🔥🔥

- ・成獣は体長約50cmで体重4～10kgになる。
- ・尾に縞模様があり(タヌキにはない(※))、目の周りに黒いマスク模様がある。
- ・長い指で物を掴むことができる。
- ・森林から街中まで、幅広い環境に生息できる。
- ・主に活動は夜に行うため、昼間はほとんど見ることがない。
- ・木の穴や家の屋根裏などで繁殖して、年に1回、3～6頭の子を産む。

どんな影響？

- ・雑食性で、淡水魚類、カエルなどの両生類、トカゲなどの爬虫類、バッタやコオロギといった昆虫類を捕食することで生態系に被害が生じる。
- ・ブドウやミカンなどの果実、トウモロコシやトマトといった野菜、マメなどの穀類が食べられる被害も出ている。
- ・屋根裏での生息による糞尿等での住居の汚染やアライグマ回虫や狂犬病といった動物由来感染症の危険性もある。

見つけたらどうすればいいの？

追い詰めたり驚かせたりすると攻撃してくることがあるため、不要な接触は避けてください。市町村による捕獲檻の貸出があるため、捕獲が必要な場合は市町村へ連絡してください。

大阪府 アライグマ



凡例
● 発見情報あり

もっと詳しく教えて！

1977年にアライグマを題材にしたテレビアニメが放送されたことがきっかけでペットとして多くの個体が輸入されました。しかし、大きくなると飼い主に噛みつく等凶暴になることが多いため、飼いきれなくなって捨てられたり、逃げたりして野生化するケースが全国各地で相次ぎ、現在に至ったとされています。

-2-

- ① 種名と原産地
- ② 関係する被害（健康被害、農林水産業被害、生態系被害）
- ③ 生きている姿（または標本の写真）見た目や生態について
- ④ 生息による影響
- ⑤ 発見情報があった市町村
- ⑥ 見つけた場合の対応方法
- ⑦ 追加情報

の基準について

【軽度の被害が発生している、もしくはその恐れがある】

【一定規模の被害が発生している、もしくはその恐れがある】

【深刻な被害が発生させている、もしくはその恐れがある】

1.アライグマ

原産：北アメリカ～中央アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害



農林水産業被害



生態系被害



- ・成獣は体長約50cmで体重4～10kgになる。
- ・尾に縞模様があり（タヌキにはない）、目の周りに黒いマスク模様がある。※写真参照
- ・長い指で物を掴むことができる。
- ・森林から街中まで、幅広い環境に生息できる。
- ・主に活動は夜に行うため、昼間はほとんど見ることがない。
- ・木の穴や家の屋根裏などで繁殖して、年に1回、3～6頭の子を産む。

どんな影響？

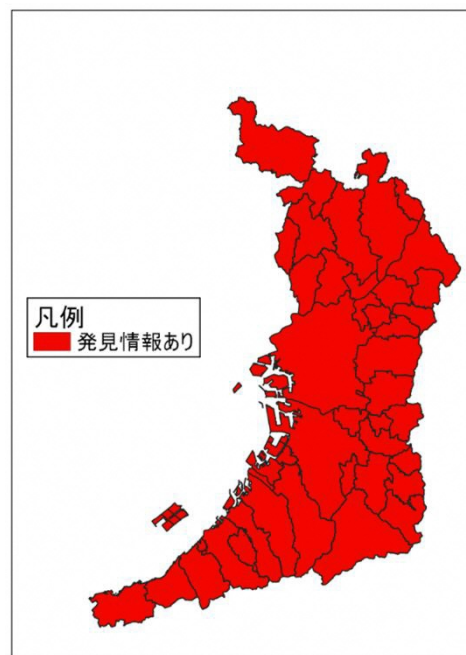
- ・雑食性で、淡水魚類、カエルなどの両生類、トカゲなどの爬虫類、バッタやコオロギといった昆虫類を捕食することで生態系に被害が生じる。
- ・ブドウやミカンなどの果実、トウモロコシやトマトといった野菜、マメなどの穀類が食べられる被害も出ている。
- ・屋根裏での生息による糞尿等での住居の汚染やアライグマ回虫や狂犬病といった動物由来感染症の危険性もある。

見つけたらどうすればいいの？

追い詰めたり驚かせたりすると攻撃してくることがあるため、不要な接触は避けてください。

状況により市町村による捕獲檻の貸出があるので、捕獲が必要な場合は市町村へ連絡してください。

大阪府 アライグマ



もっと詳しく教えて！

1977年にアライグマを題材にしたテレビアニメが放送されたことがきっかけでペットとして多くの個体が輸入されました。しかし、大きくなると飼い主に噛みつくなど凶暴になることが多いため、飼いきれなくなって捨てられたり、逃げたりして野生化するケースが全国各地で相次ぎ、現在に至ったとされています。

2.ヌートリア

原産：南アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害



農林水産業被害



生態系被害



- ・成獣は体重 4～5kgで鼻先から尾の付け根までの長さは50～70cm、尾の長さ35～50cm。
- ・全身は茶色で、尾は黒くて長く毛がない。
- ・オレンジ色の大きな前歯がある。
※写真参照
- ・物をつかむことのできる小さな前足と水かきのついた大きな後足を持っている。
- ・河川に広く分布し、水生植物の葉や地下茎を餌とした雑食性である。
- ・年2～3回繁殖でき、一度に平均5頭の子を産むとされる。

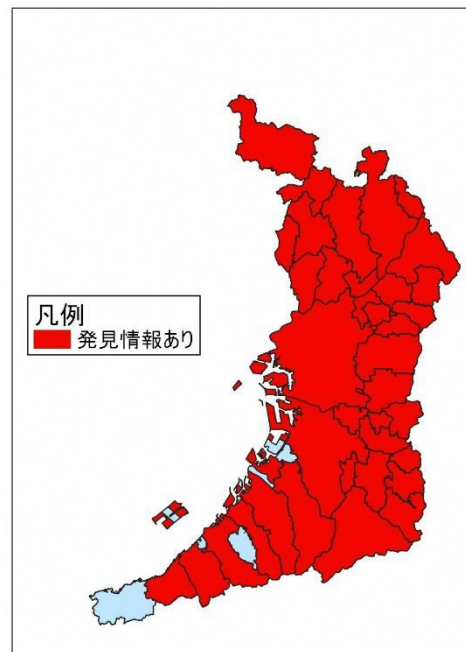
どんな影響？

- ・河川ではイシガイ科二枚貝を捕食して生態系に影響を与え、また、田んぼや畑に出没してイネやニンジンなどの根菜類といった農作物を食害したり、巣穴を掘って堤防や畦を破壊する。



見つけたらどうすればいいの？

捕獲することは、捕獲場所の市町村長の許可が必要です。なお、捕獲時には鋭利な前歯や前足の爪による攻撃での怪我の危険性もあるので注意してください。



もっと詳しく教えて！

もともとは軍服用の毛皮獣として養殖用に第二次世界大戦頃に輸入され、その後、逃げたり、繁殖場の閉鎖にともない野外に放逐され、各地に広がったとされています。

3. クリハラリス (タイワンリス)

原産：中国、台湾

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害

生態系被害



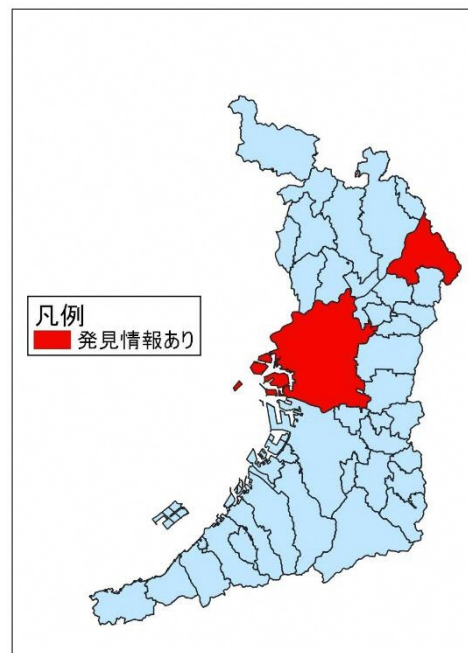
- 成獣の鼻先から尾の付け根までの長さは20～22cm、尾の長さが17～20cm、体重150～500g。
- 体の背面が黒と黄土色の霜降り、腹部は淡い灰褐色あるいは赤褐色（クリ色）をしている（在来のニホンリスは全体的に茶色で腹部は白い）。
- 市街地の公園、造林地などに生息し、昼行性で、樹上で生活する。
- 植物の花、種子、果実、新芽などが主な餌だが、昆虫も食べ、餌の少ない時期は樹皮を剥いで樹液を採食する。

どんな影響？

- 他県ではミカンなどの果樹で果実の採食や樹皮剥ぎ、ダイコンなどの野菜類や、スギ・ヒノキの苗木に対する食害が発生したり、家屋の天井裏や戸袋に営巣し、木材をかじったり、電線、電話線をかじる被害が報告されている。
- また、在来のニホンリスとの餌や住みかの競合も懸念されている。

見つけたらどうすればいいの？

現在判明している分布域が限られているため、府内の分布状況について情報を収集中であり、目撃した場合は大阪府への情報提供をお願いします。なお、捕獲時には鋭利な前歯による攻撃での怪我の危険性もあるので注意してください。



もっと詳しく教えて！

日本ではペットや動物園等での飼育個体が逃げ出したり、放たれたりした事が原因で野生化したとされています。

4. ソウシチョウ

原産：中国南部～東南アジア

どんな生き物？



(写真提供：池口直樹氏)

健康被害

農林水産業被害

生態系被害



- ・成鳥の全長は15cm程度（スズメぐらいの大きさ）。
- ・体色は暗緑色で、のどの部分と眉斑（眉のように横に走っている色の違う部分）から頬は薄い黄色で胸は濃いオレンジ色をしている。
- ・翼には黄色と濃い赤の斑紋があり、嘴の色は、幼鳥時は黒色で、成鳥になると赤色となる。
- ・落葉広葉樹林や竹林などの下層部に生息し、営巣を行う。
- ・雑食性で、昆虫類、果実、種子等を食べる。
- ・越冬期には大きな群れで行動することもある。

どんな影響？

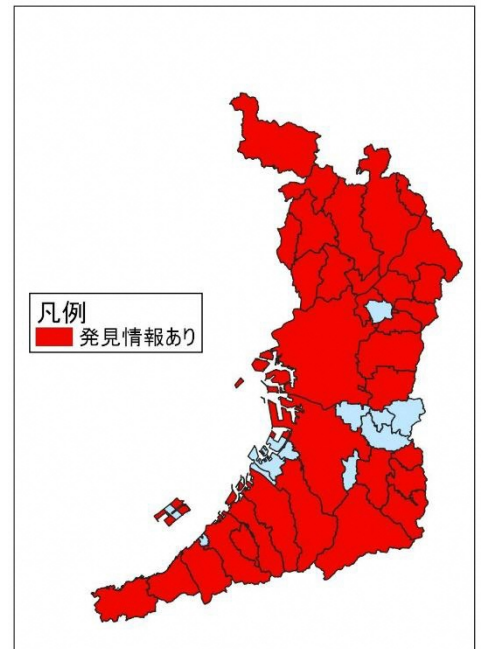
- ・天敵がいないうことなどで近年に爆発的な個体数の増加が起こっており、同じような環境を利用するウグイスやカケスなどの在来種の生息に影響を与えている可能性が指摘されている。
- ・全国各地でもソウシチョウの繁殖のため、生息している鳥の種類が変化しているとの報告がある（府内の被害は未確認）。

見つけたらどうすればいいの？

大阪府内の被害の情報等が不明であるが、個体数が増加するのを抑えるため、餌付け等は決して行わないようにしてください。

もっと詳しく教えて！

日本では江戸時代から飼育されていたとされます。フンを化粧品（ウグイスの粉）の代用品として利用するため、大量飼育されていた例があります。声が非常に大きいため、昨今の住宅地では騒音として問題となったことで人気落ちたことや、特定外来生物に指定されたことなどから、飼っていた人が逃がしたり、在庫の扱いに困った業者が投棄したり、逃げ出したりといった幾つかの要因から、野外に定着したといわれています。



5.カミツキガメ

原産：アメリカ大陸

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害



農林水産業被害

生態系被害

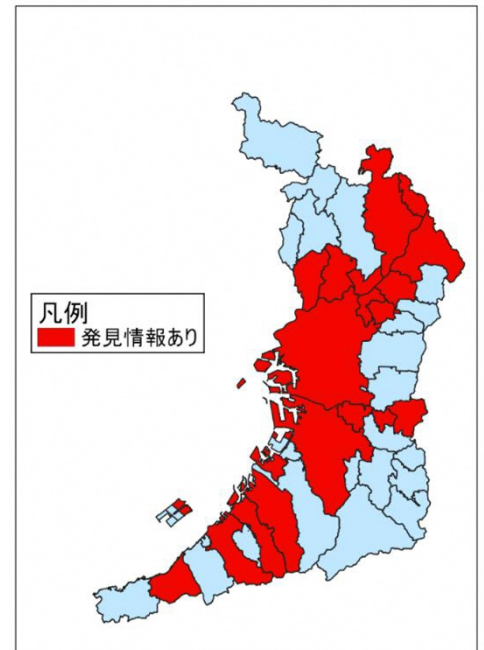


- ・甲羅の長さは最大で**50cm**程度
- ・尾側の甲羅の縁はギザギザする。
- ・あしは強靱で強力なカギ状のアゴを持つ。
- ・甲羅に突起物はなく滑らかである（似ている種のカミツキガメでは甲羅に突起が多くある）。
- ・河川や湖、池に生息する。
- ・水中で淡水魚類やカエルなどの小動物を捕食する。

どんな影響？



- ・淡水魚類やカエルなどの両生類、カニなどの甲殻類などを捕食することによる生態系の影響や、陸にあがった個体は攻撃的であるとされ、生息地に人が近寄ったときに、不意の接触時の噛みつき、特に大型個体に噛まれた場合は大怪我の危険性が高い。



見つけたらどうすればいいの？

定着している場所等の情報は、現在はなく、出没した場所では、安全対策のため施設管理者による捕獲が行われるので、目撃した場合は施設管理者へ情報提供をお願いします。

もっと詳しく教えて！

1990年代以降から遺棄・逸脱と推定される個体が野外で見つかるようになりました（繁殖は大阪では未確認）。淡水産のカメとしては最も産卵数の多いもののひとつで、年に**1**回産卵し、1回に通常**20～30**個、まれに産卵数が**100**個を超えるとされています。また、長寿で寿命が**80**年にも及ぶとも言われています。

6.ウシガエル

原産：アメリカ東部・中部、カナダ南東部

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害

生態系被害



- ・日本最大級のガエルで、鼻先から腹部の末端までの長さが**18cm**程度に達する。
- ・水生傾向が強く、後肢の水かきはよく発達する。
- ・幼生も大型で、全長**15cm**になる。
- ・流れの緩やかな河川や池沼、湖、湿地などに生息する。
- ・ヤゴなどの水生昆虫類、クモなどの節足動物、ザリガニなどの甲殻類、メダカなどの淡水魚類、ガエルなどの両生類等、口に入る大きさであれば、ほとんどの動物が餌となる。
- ・**5～9月**に寒天質に包まれた**10,000-20,000**個の卵を産む。
- ・幼生の状態で越冬し、翌年の夏に変態し幼体になる。

どんな影響？



- ・貪欲な捕食者で、様々な動物を餌とするため、普通種の生態系も脅かされると同時に、モリアオガエルやトンボのヤンマ類などの希少種なども捕食により減少する。

見つけたらどうすればいいの？

池の干し上げ等（オタマジャクシの駆除）や河川の清掃時の除去により、駆除をお願いします。

もっと詳しく教えて！

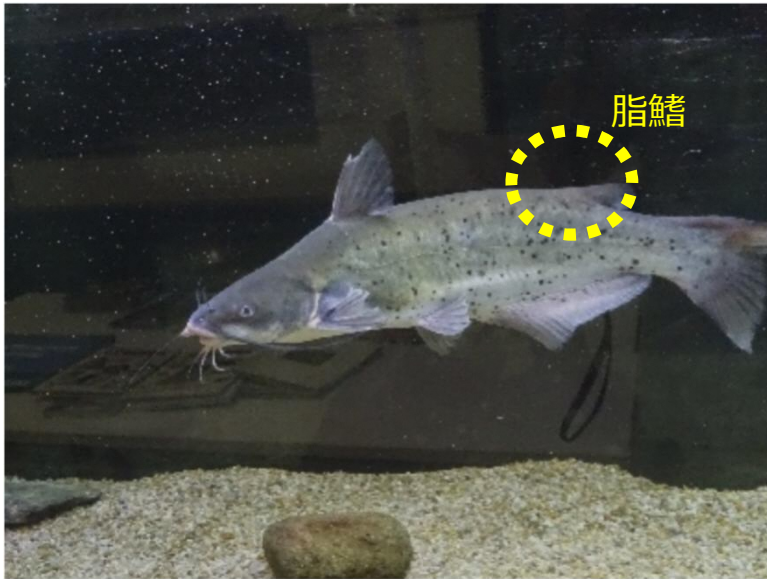
ため池や湿地、河川において在来種の保全のため、管理者による捕獲・駆除が行われています。オスの鳴き声が牛に似ていることが名前の由来の別名“食用ガエル”で、後ろ足を食用とします。府内でも戦後すぐには全域で生息し、**1950年代**ころには輸出用に本種を採捕されていた。昭和**25年**には**314**トンの生産高があり、食用蛙漁業協同組合も存在しました。また、ウシガエルのエサとしてアメリカザリガニは輸入されました。



7.チャネルキャットフィッシュ

原産：北アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害



農林水産業被害



生態系被害



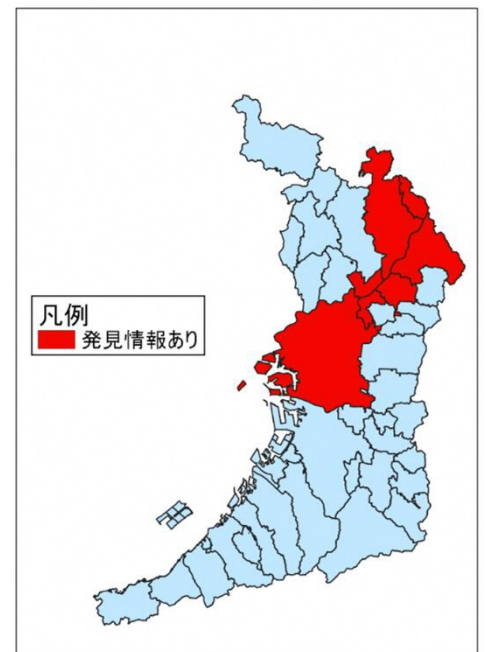
- ・最大で全長**130cm**超に成長する。
- ・体は細長く、日本のナマズほど平たかない。口ひげは**8本**。脂鰭（アブラヒレ）があり、尾鰭（オビレ）は切れこんでいる。※写真参照
- ・幼魚の体側には黒色斑点がみられる。
- ・背鰭（セビレ）や胸鰭（ムナビレ）に極めて鋭いトゲを持っている。
- ・湖沼、河川下流域に生息する。
- ・水温**0～32℃**で生息可能で、産卵はオスが作った産卵床で行われ、オスが卵と仔魚を保護する。
- ・淡水魚類だけでなく、テナガエビなどの甲殻類、ヤゴなどの水生昆虫等も捕食する。

どんな影響？

- ・様々な水生生物を捕食するため、在来種の減少が懸念されている。
- ・他府県では、漁業において、トゲで網や漁獲物を破損するほか、漁業者の怪我、漁獲物の選別の煩雑化や漁獲物の横取り（漁網中での漁獲物の捕食）も生じている。

見つけたらどうすればいいの？

釣れた場合は、リリースしないようにし、生態系への被害を拡大させないようにしてください。



もっと詳しく教えて！

淀川では、国交省淀川河川事務所と環農水研生物多様性センターで共同して、駆除や効率的な駆除方法の研究などを行っています。アメリカでは食用としてよく利用されており、日本でも当初は水産目的で導入されています。

8.コクチバス

原産：北アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害 🔥🔥🔥

生態系被害 🔥🔥🔥

- ・全長30～50cm程度に成長する。
- ・体側から背にかけて不規則な暗斑がある。
- ・オクチバスに似るが、口は小さくて上あごの後端は眼の中央下付近に達する程度で、目の後縁下を越えない（枠内写真参照）。
- ・湖沼や河川の中下流域に生息する。
- ・低水温に対する耐性が強く、また流水域にも適応できる。
- ・肉食性で淡水魚類やテナガエビなど甲殻類を捕食する。
- ・メス1匹当たりの抱卵数は5,000～14,000個であり、体サイズが大きいほど多くの卵を産む。
- ・砂礫底にすり鉢状の産卵床を作り、オスが保護する。

どんな影響？

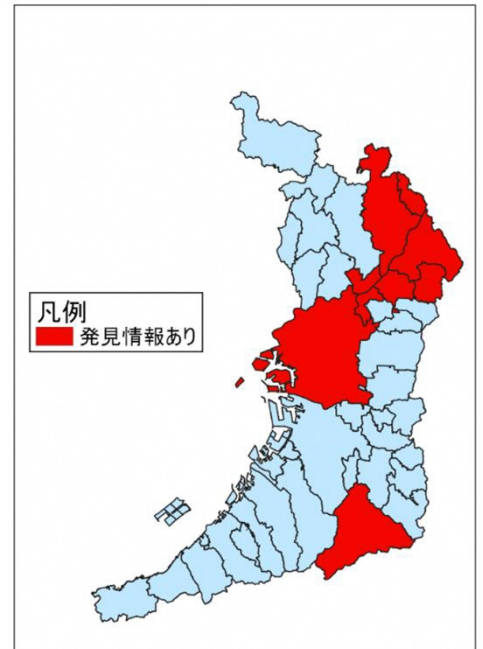
- ・動くものは何でも捕食するため、ヤゴなどの水生昆虫やカエルなどの両生類、メダカやフナ、アユなどの魚類がいなくなるなど、希少種を含めた在来種や漁業対象種の減少が懸念されている。

見つけたらどうすればいいの？

釣れた場合は、リリースしないようにし、生態系への被害を拡大させないようにしてください。

もっと詳しく教えて！

釣りの対象として人気が高く、各地で意図的な放流が行なわれてきたことが生息域の拡大につながったことが指摘されています。群馬県では、河川の上・中流部でイワナやヤマメ、アユ等、奥根湖でワカサギ、ヤマメ、ウグイ、ヨシノボリ、オオシマドジョウなどが捕食されている。淀川では、国交省淀川河川事務所と環農水研生物多様性センターが共同して、駆除や効率的な駆除方法の研究などがおこなわれています。また、世界規模で猛威をふるっている侵略種であり、イギリスや韓国では生体の持込が禁止されています。 —14—



9.オオクチバス

原産：北アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害 

生態系被害 

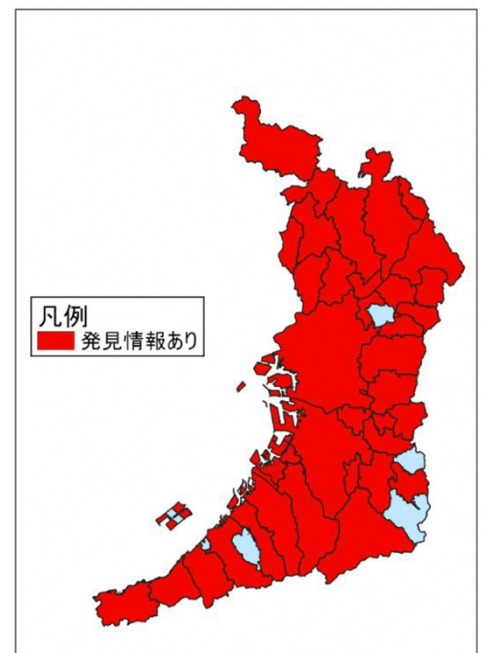
- ・全長30～50cmに成長する。
- ・体側から背にかけて不規則な暗斑があり、腹側は黄味を帯びた白色。
- ・コクチバスと比較して口が大きく、上あごの後端が眼の後端の直下よりも後方に達する（枠内写真参照）。
- ・湖沼やため池、河川の中下流域に生息する。
- ・産卵期は5～7月で、オスは砂底にすり鉢状の穴を掘り、そこにメスを迎えて産卵させる。その後は、オスが卵や仔魚を保護する。
- ・メス一匹当たりの抱卵数は2,000～145,000個であり、体サイズが大きいほど多くの卵を産む。

どんな影響？

- ・肉食性で他の魚やエビなどの甲殻類を捕食する。
- ・動くものは何でも捕食するため、ヤゴなどの水生昆虫やカエルなどの両生類、メダカやフナ、アユなどの魚類がいなくなるなど、希少種を含めた在来種や漁業対象種の減少が懸念されている。

見つけたらどうすればいいの？

ため池や河川において在来種の保全のため、捕獲・駆除が行われています。また、釣れた場合は、リリースしないようにし、生態系への被害を拡大させないようにしてください。



もっと詳しく教えて！

釣りの対象として人気が高く、各地で意図的な放流が行なわれてきたことが生息域の拡大につながったことが指摘されています。淀川では、淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワークによる外来魚駆除釣り大会といったイベントを通じて駆除が行われています。大型個体は同種の幼魚やブルーギル、鳥の雛なども捕食するとされます。世界規模で猛威をふるっている侵略種であり、イギリスや韓国では生体の持込が禁止されています。

10.ブルーギル

原産：北アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害 

生態系被害 

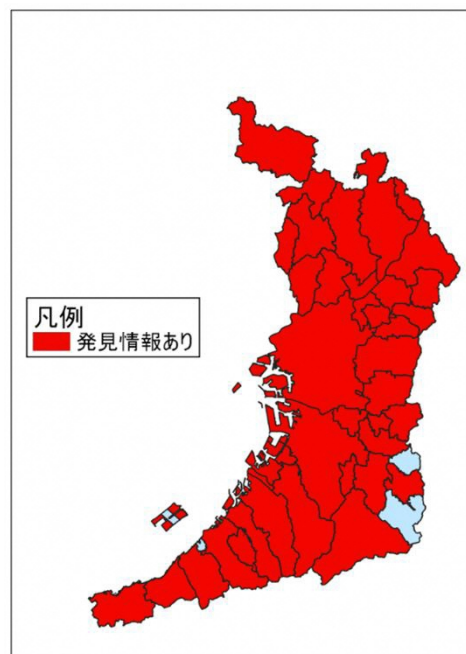
- ・全長25cmに成長する。
- ・生後約1年目までの幼魚では体形がやや細く、体側には7～10本の暗色の横帯がある。
- ・成長すると体高が高くなり体色は濃灰褐色から暗褐色になり、横帯は不明瞭になってくる。
- ・湖沼やため池、堀、公園の池などに生息し、湖や河川では沿岸の水生植物帯に生息する。
- ・雑食性であり、ヤゴなどの水生昆虫や水生植物、小魚や貝類、動物プランクトンなどを餌とする。
- ・産卵期は6～7月で1回の産卵数は平均的なサイズの個体で2～3万個である。

どんな影響？

- ・卵や仔魚をオスが保護するため繁殖力は強く、短期的に個体数が増えることや、他の魚類の卵を好んで食べるとされていることにより、希少種を含めた在来種や漁業対象種の減少が懸念されている。
- ・また、他府県では漁業で目的外の魚として多数捕獲されることによる著しい支障も報告されている。

見つけたらどうすればいいの？

釣れた場合は、リリースしないようにし、生態系への被害を拡大させないようにしてください。



もっと詳しく教えて！

ため池や河川において在来種の保全のため、捕獲・駆除が行われています。淀川では、淀川水系イタセンパラ保全市民ネットワークによる外来魚駆除釣り大会といったイベントを通じて駆除が行われています。なお、えらぶたの縁から突き出している部分が紺色（枠内写真参照）であることから、「bluegill（青いえら）」と名づけられたとされています。

11.アリゲーターガー

原産：北アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害



農林水産業被害



生態系被害



- ・最大3m程度になり、体は細長く頑強である。
- ・体色は背部が暗い茶褐色～オリーブ褐色、背鰭(セビレ)、尻鰭(シリビレ)、尾鰭(オビレ)に暗褐色斑がある。
- ・浮袋は肺と同じような機能を持ち、空気呼吸を可能にしている。
- ・口が細長く、歯が鋭い。
- ・河川や池や湖に生息する。
- ・日本での野生での繁殖は確認されていないが、原産国では4～6月に、水草に粘着卵を産み付ける。
- ・卵数は平均で14万個とされている。
- ・肉食性で、魚類や水生生物を捕食する。

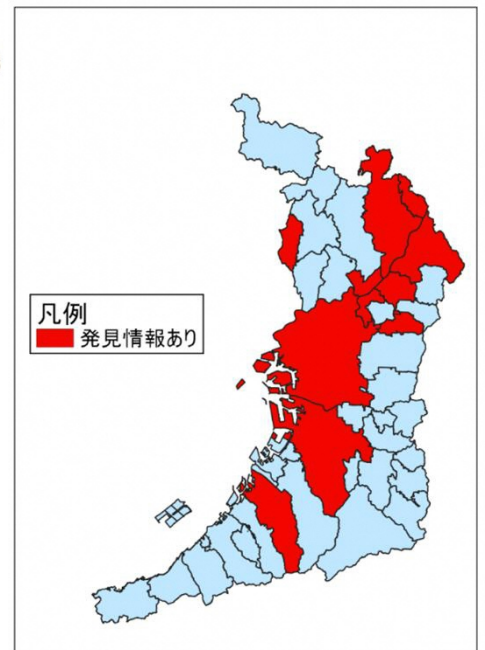
どんな影響？



- ・生息地では、上位捕食者となるため、淡水魚類の捕食により、在来の生態系や漁業対象種に影響を及ぼすおそれがある。
- ・また、鋭い歯により、人間との接触時、攻撃による咬傷の危険性がある。

見つけたらどうすればいいの？

釣れた場合は噛まれないよう注意したうえで、リリースしないようにし、生態系への被害を拡大させないようにしてください。



もっと詳しく教えて！

定着している場所等の情報はなく、咬傷の危険性を回避するため、安全対策として、出没した場所の管理者による捕獲が行われています。鑑賞目的で飼育されていたものが、野外に放逸されたものとみられます。なお原産地では乱獲等で逆に生息数が激減しているとされています。

12.カダヤシ

原産：北アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

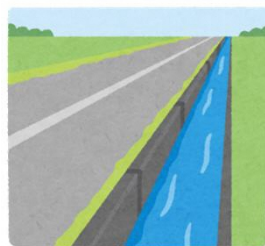
農林水産業被害

生態系被害



- ・全長は3～5cmに成長する。
- ・メダカとの違いは、尾鰭（オビレ）はカダヤシでは後縁が丸くなっているのに対して、メダカでは直線的である。さらに、メダカでは眼の上半分が青色を帯びる。
- ・水田と用水路のほか、平地の池沼・湖、河川下流で流れが緩やかな場所に生息する。
- ・比較的汚濁に強い。
- ・昼行性で、雑食性である。水面に落下した小さな昆虫、動物プランクトン、植物プランクトン、糸状藻類などを食べる。

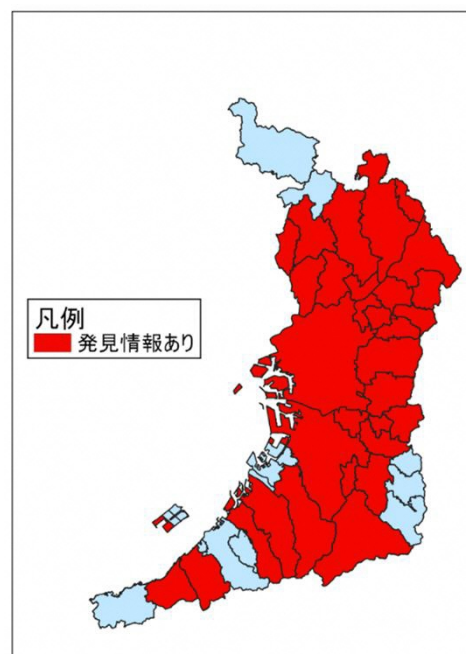
どんな影響？



- ・水の汚れにも強く繁殖力も高いため、同じ環境に生息している在来のメダカと競合し、駆逐する危険性がある。

見つけたらどうすればいいの？

捕獲した場合は、リリースしないようにし、生態系への被害を拡大させないようにしてください。



もっと詳しく教えて！

在来種の保全のため、ため池や河川において管理者による捕獲・駆除が行われています。「蚊を絶やす」すなわちカダヤシと呼ばれているように、1970年ごろからボウフラ駆除のため日本各地に放流されたとされています。

13.クビアカツヤカミキリ

原産：中国、台湾、朝鮮半島、ベトナム

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害 

生態系被害 

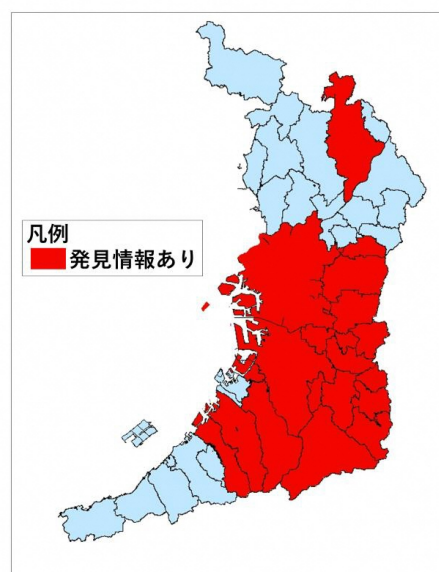
- ・成虫の体長は20～40mm
- ・黒い体色で、光沢がある。
- ・頭部の下(前胸の一部)が赤く、突起がある。
- ・公園や市街地の街路樹や果樹園に生息する。
- ・産卵数は平均約350個で最大1,000個以上の産卵を行った個体の記録もある
- ・成虫は昼間活動する。
- ・幼虫は樹木の内部で2～3年過ごす。
- ・生きている樹木の幹や根から幼虫が排出するフラス（木くず・糞の混合物）を多く排出する。

どんな影響？

- ・幼虫がバラ科の樹木の中に入り込み、木の内部を食い荒らしてしまうことで枯死の原因となる。
- ・生態系の被害では公園や街路のサクラ、また農林水産業の被害ではモモやウメなどに被害を及ぼす。
- ・また、在来のカミキリムシとの生息地の競合や、バラ科樹木の病原菌の伝播も危惧されている。

見つけたらどうすればいいの？

被害拡大を防ぐためには殺虫剤の散布や、成虫の捕殺、被害木の伐採も効果があるので見つけたら実施するようにしてください。また、成虫が発生する夏場には、木からの脱出防止のネット巻や薬剤散布の実施、発見情報がない地域で発見した場合は市町村に連絡してください。



大阪府 クビアカツヤカミキリ



もっと詳しく教えて！

発生地では、自治体や管理者によりネット巻きや薬剤散布、伐採など被害拡大防止や駆除の対策が行われています。成虫はジャコウのような匂いを放つことから、別名を「クロジャコウカミキリ」と言います。

14.ハヤトゲフシアリ

原産：南ヨーロッパ

どんな生き物？



(写真提供：環境省)

健康被害



農林水産業被害

生態系被害



- ・体長2.5～4.0mm
- ・触角は11節。触角が長く、複眼は大きい。
- ・脚が長く、特に後脚は細く長い。腹柄は1節。前伸腹節には1対の突起がある。
- ・中胸が赤みを帯びる。
- ・乾燥した裸地や街路の廃材下等に生息する。
- ・多女王制でスーパーコロニーを形成する。
- ・在来種ではみられないような素早さで移動する。
- ・他種のアリを集団で襲い捕食する。
- ・アリのみならず、他の昆虫類や節足動物も捕食する。

どんな影響？

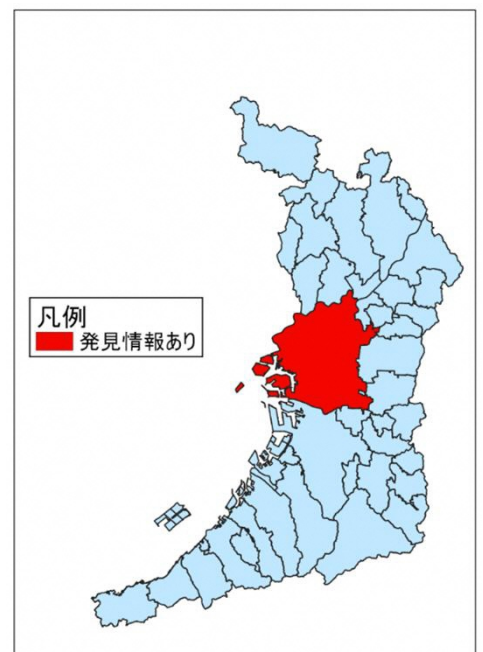
- ・他の在来のアリ類を駆逐するとともに、家屋への侵入により、家屋害虫にもなることが懸念されている（府内の被害は未確認）。
- ・侵入先で高い繁殖力で個体数を増やし、在来のアリ類および多種多様な節足動物を捕食することで生態系に甚大な被害をもたらすことが知られている。

見つけたらどうすればいいの？

見つけたら市販されている殺虫剤を使用して駆除してください。

もっと詳しく教えて！

オーストラリアやグアムでは深刻な被害をもたらすうる侵略的外来アリとして防除が進められています。現在判明している分布域は限られているため、情報収集して封じ込めが図られています。侵入が確認された場所では管理者による薬剤散布による駆除が行われていますので、近隣で発見情報があった場合はまわりで発生していないか確認してください。



15.アルゼンチンアリ

原産：南アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害



農林水産業被害



生態系被害



- ・体長2.5～3.0mm。
- ・外皮は軟らかく、淡い黒褐色。
- ・複眼はやや大きく、頭部背面前方よりにある。
- ・肉眼では腰のくびれは目立たず、腹柄（胸部と腹部の間にある節）は1節で扁平なこぶ状である。
- ・脚の長さは目立たない。
- ・巣は、地中に作られることは希で植木鉢やプランターの下、石や木、枯葉の下、コンクリート構造物などの亀裂、物の隙間など、日当たりの良い場所や直接雨が降り込まない場所に作る。
- ・一つの巣の中に多数の女王アリがおり、複数の集団（コロニー）として一緒に生活しているため、繁殖力も高い。

どんな影響？

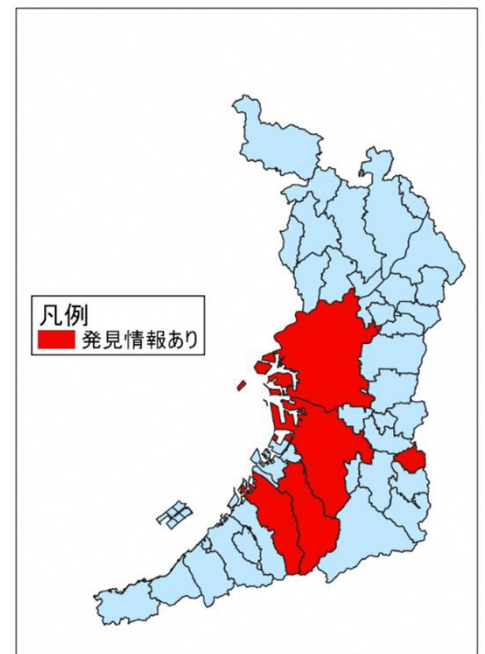
- ・分泌する甘露を得られるようアブラムシやカイガラムシなどを、外敵から保護するため、結果として、アルゼンチンアリがこれらの昆虫による農作物への被害を助長させる。
- ・また、本種が侵入すると在来のアリの生息数が減少し、駆逐する。
- ・住宅地で発生した場合、家屋への侵入により家屋害虫になることが懸念されている。

見つけたらどうすればいいの？

見つけたら市販されている殺虫剤を使用して駆除してください。

もっと詳しく教えて！

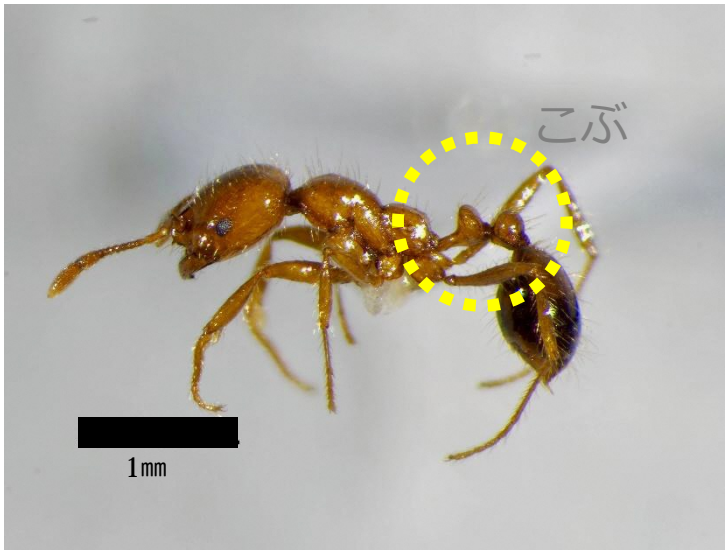
これまで世界中の侵入地で防除が試みられてきましたが、未だ完全駆除に成功した国はないとされています。現在判明している分布域は限られているため、情報収集して封じ込めが図られています。侵入が確認された場所では管理者による薬剤散布による駆除が行われていますので、近隣で発見情報があった場合はまわりで発生していないか確認してください。



16.アカカミアリ

原産：アメリカ合衆国南部～中米

どんな生き物？



(写真提供：上田昇平氏)

健康被害



農林水産業被害

生態系被害



- ・体長は3.0～5.0mm。
- ・体色は赤褐色で頭部は褐色。
- ・腹柄節（胸部と腹部の間にある節で、アリにだけある）が2節でこぶ状になっている。
- ・触角の先端2節が棍棒状で大きい。
- ・海外での定着場所は、公園、芝生・緑地、水辺、畑地などの日当たりのよい、開放的な場所。
- ・現在の目撃場所は港湾地区やコンテナ付近に限定（定着や繁殖はなし）。
- ・土中に営巣する。

どんな影響？

- ・ヒアリと比べると毒性は低いものの同じ種類の毒をもっており、毒針で刺された場合の症状として熱いと感じるような、やけどのような激しい痛みを生じる。ヒアリ類の毒にアレルギー体質を持っている人では、じんましん、呼吸困難・血圧低下・意識障害起こる場合がある。
- ・また、攻撃的で高い採餌能力を持っており、他の小型の節足動物などを捕食する。在来のアリと生息地が競合するため駆逐する危険性がある。

見つけたらどうすればいいの？

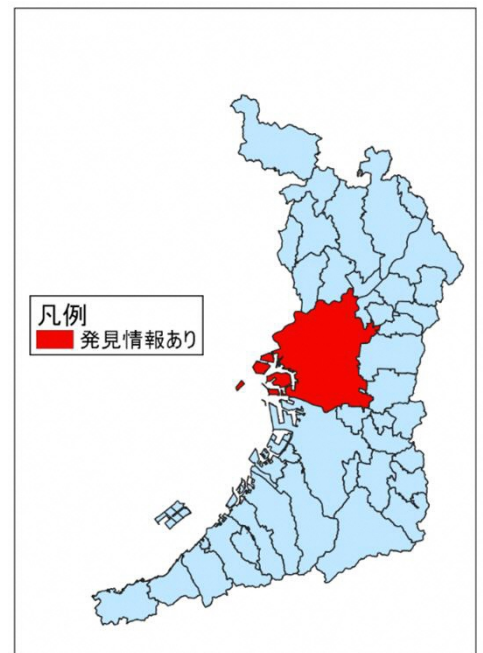
ヒアリ等は攻撃性が強いため、素手では触らないでください。また、踏むなどいたずらに刺激せず、

環境省・相談ダイヤル

【0570-046-110】へ連絡してください。

もっと詳しく教えて！

ヒアリ類の毒には、ハチ毒と共通の成分などが含まれており、過去にヒアリ類に刺された経験がなくても、ハチ毒アレルギー体質を持っている方は特に注意が必要です。現在判明している分布域は限られているため、情報収集して封じ込めが図られています。管理者による薬剤散布での駆除及び国によるモニタリング調査が行われていますので、近隣で発見情報があった場合はまわりで発生していないか確認してください。



17.ヒアリ

原産：南アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害



農林水産業被害

生態系被害



- ・体長は2.5～6.0mm。
- ・体色は赤褐色（アカカミアリとの区別は困難）。
- ・腹柄節（胸部と腹部の間にある節で、アリにだけある）が2節でこぶ状になっている。
- ・触角の先端2節が棍棒状で大きい。
- ・海外での定着場所は、公園、芝生・緑地、水辺、畑地など日当たりのよい、開放的な場所。
- ・現在の目撃場所は港湾地区やコンテナ付近に限定（定着や繁殖はなし）。
- ・定着すると、大きなドーム状の「アリ塚」を作り、女王アリと数千から数十万もの働きアリが集団生活する。

どんな影響？

- ・毒針を持ち、刺された場合の症状として熱いと感じるような、やけどのような激しい痛みを生じる。ヒアリ類の毒にアレルギー体質を持っている人では、じんましん、呼吸困難・血圧低下・意識障害が起こる場合がある。
- ・また、極めて攻撃的で、節足動物の他爬虫類、小型哺乳類をも集団で攻撃し捕食することや、在来のアリと生息地が競合するため駆逐する危険性がある。

見つけたらどうすればいいの？

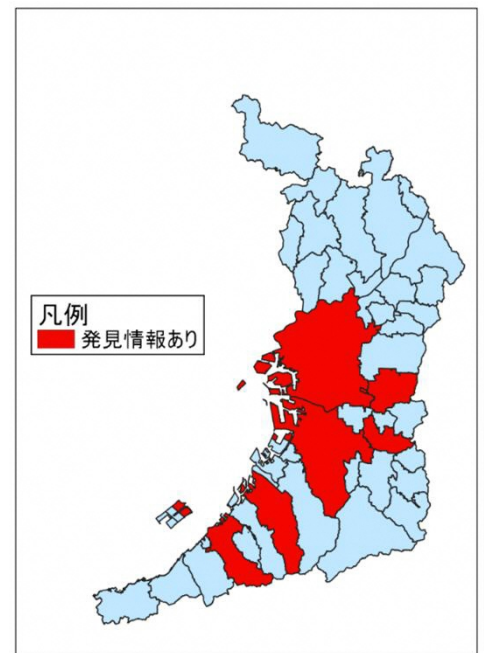
ヒアリ等は攻撃性が強いため、素手では触らないでください。また、踏むなどいたずらに刺激せず、
環境省・相談ダイヤル

【0570-046-110】へ連絡してください。

もっと詳しく教えて！

現在の目撃場所は港湾地区やコンテナ付近に限られており、確認された場合は、管理者による駆除が行われています。また、国によるモニタリング調査も実施されていますので、近隣で発見情報があった場合はまわりで発生していないか確認してください。

ヒアリ類の毒には、ハチ毒と共通の成分などが含まれており、過去にヒアリ類に刺された経験がなくても、ハチ毒アレルギー体質を持っている方は特に注意が必要です。



18.セアカゴケグモ

原産：オーストラリア、ニュージーランド、南太平洋諸国

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害



農林水産業被害

生態系被害

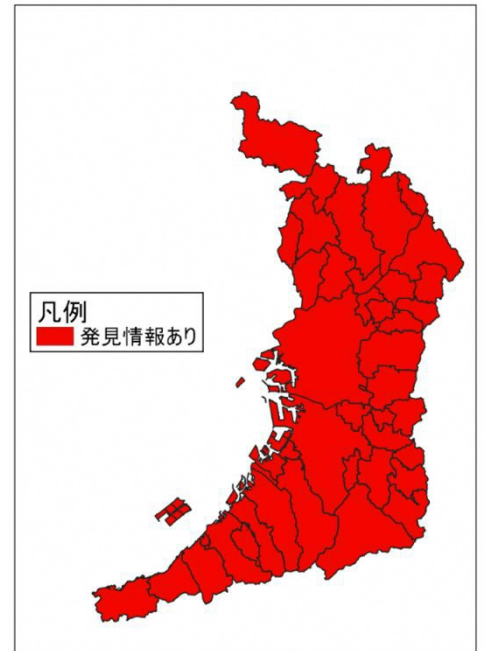
- ・体長はオスが2.5～3.0mm、メスが10.0～14.0mm。
- ・全体的に黒色で、メスの腹部背面中央にゴケグモ特有の砂時計型の赤又は橙色の縦斑紋がある。
- ・オスにはほとんど毒がないとされている。
- ・日当たりが良い場所や暖かい場所にある物陰や隙間、コンクリート建造物や器物の窪み、裏側、隙間などに営巣する。
- ・卵のうは直径約10～15mmで乳白色をしている。
- ・昆虫類および他のクモ類などの節足動物を捕食する。

どんな影響？

- ・存在に気づかず近づいた場合、身を守るために攻撃してくることがある。
- ・咬まれると激しい痛みとともに、腫れ、めまい、嘔吐などの局所症状のほか、時には血圧の上昇、呼吸困難などの全身症状が現れることもある。

見つけたらどうすればいいの？

発見された場合はその場での殺虫剤の噴霧や踏みつぶすなどにより駆除してください。



もっと詳しく教えて！

日本では1995年に大阪府で初めて定着確認されました。安全対策のため出没した場所の管理者による駆除が行われています。また、大阪府内では7月20日から8月31日までを「セアカゴケグモ等対策月間」としています。

19.ハイイロゴケグモ

原産：亜熱帯地方

どんな生き物？



(写真提供：加村 隆英氏)

健康被害



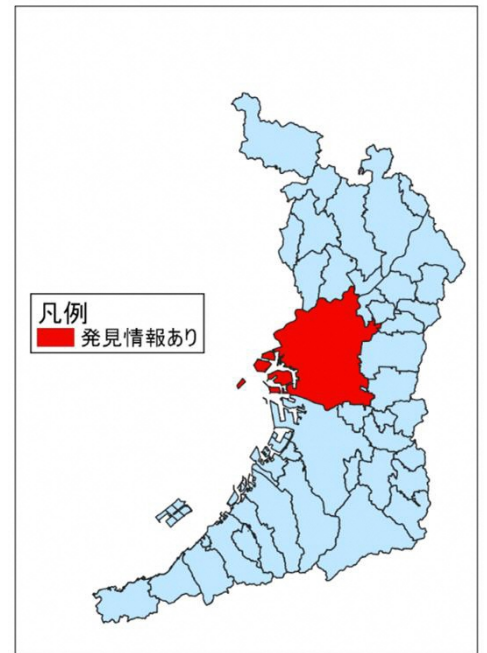
農林水産業被害

生態系被害

- ・メスの体長は、7.0～10.0mmでオスはその半分の大きさである。
- ・腹部が球のように丸い。
- ・体色は茶色、灰色、黒色とかなり個体差があるが、腹部の背面に縁取りのある赤褐色の斑紋、腹面に赤色の斑紋がある。
- ・日当たりが良い場所や暖かい場所にある物陰や隙間、コンクリート建造物や器物の窪み、裏側、隙間などに営巣する。
- ・昆虫類および他のクモ類などの節足動物を捕食する。

どんな影響？

- ・セアカゴケグモより攻撃性が低いとされているが、存在に気づかず近づいた場合、身を守るために攻撃してくることがある。
- ・咬まれると激しい痛みとともに、腫れ、めまい、嘔吐などの局所症状のほか、時には血圧の上昇、呼吸困難などの全身症状が現れることもある。



見つけたらどうすればいいの？

発見された場合はその場での殺虫剤の噴霧や踏みつぶすなどにより駆除してください。

もっと詳しく教えて！

全国では分布を拡大している地域もありますが、現在、大阪府内で確認されたのは大阪市のみです。セアカゴケグモと併せて、安全対策のため出没した場所の管理者による駆除が行われています。

20.カワヒバリガイ

原産：東アジア、東南アジア

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害



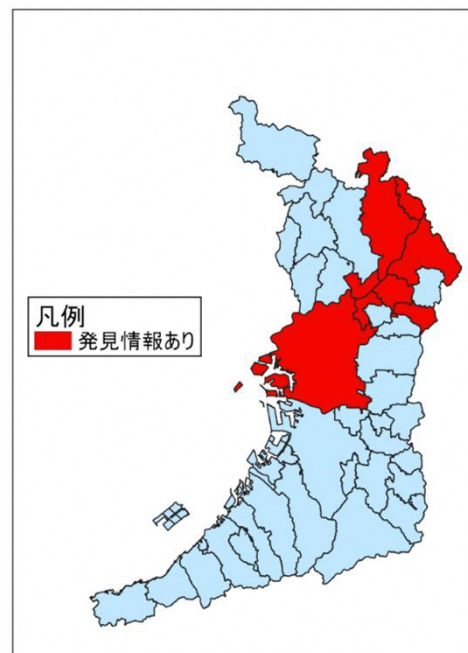
生態系被害



- ・殻長2～3cm、寿命は日本では2～3年。
- ・淡水域で生息するイガイ科の二枚貝。
- ・足糸という繊維状物質を分泌して基質に付着する。
- ・硬い基質や他の生物に付着する習性がある。
- ・河川の浮き石の裏面や水路のコンクリートの窪み等で主に見られる。
- ・固着する前に、浮遊幼生期があるため、水域を通じて広範囲に拡散することが知られている。

どんな影響？

- ・大発生すると生きた貝、死んだ貝共に農業水利施設の通水を阻害する。
- ・また、コイ科魚類等に寄生する外来の腹口吸虫類の中間宿主になることが知られており、大量衰弱させる一因となる危険性がある。
- ・大量発生した場合には、他の植物プランクトンをエサとする貝類や水生生物との競合が懸念される。砂地、泥場に生息するイシガイ科の二枚貝の殻が本種の付着基盤になる可能性があり、固有種が多く含まれる琵琶湖・淀川の二枚貝類に付着し、呼吸・摂餌障害により死に至らせるおそれがある。



見つけたらどうすればいいの？

発生時には、利水・通水設備の清掃・メンテナンスの際に、付着した本種を除去してください。

もっと詳しく教えて！

中国から輸入されたシジミ類に混入していたことにより、分布が広がったとされています。

21.アゾラ クリスタータ

原産：南北アメリカ、ヨーロッパ、アジア、オセアニア、アフリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害

生態系被害



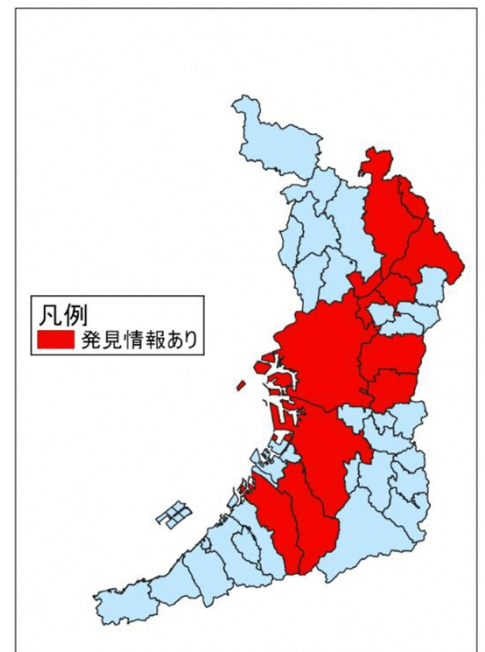
- ・浮遊性の水生シダの種類
- ・葉の長さは約0.5～2.0mmで、楕円形で柄は無く、水面で瓦状に2列に互生する。
- ・表面に2～3個の細胞からなる突起が多く、根毛がある。
- ・和名はアメリカオオアカウキクサ。
- ・在来種のアカウキクサ（葉や茎に1個の細胞からなる突起が出る）、オオアカウキクサ（根毛がない）とよく似ている。
- ・シダ植物であるため、花は咲かずに通常は孢子で増えるが、夏期には茎の分枝（芽）による栄養繁殖が旺盛に行われる。

どんな影響？

- ・生息場所で繁茂し水面を覆うことで、遮光されて他の水生植物の生育を阻害することや、水中の溶存酸素が低下して魚類や水生昆虫などの生息環境を悪化させる。
- ・在来種のアカウキクサ類と競合し、駆逐するおそれがある。
- ・また、近縁種のアカウキクサ類に対しては、交雑による遺伝的攪乱をもたらす可能性がある。

見つけたらどうすればいいの？

発見時には、管理者へ連絡してください。また、ため池や水田の中干し等を行う時に併せて除去してください。除去する際は、孢子が飛散しないように、また根を残さないようにしてください。



もっと詳しく教えて！

当初は田んぼの水面を被覆することによる雑草発生抑制と窒素肥料の節約効果を期待して、暑さに強い外国製のアカウキクサ類として導入されました。

22. ナガエツルノゲイトウ

原産：南アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害 

生態系被害 

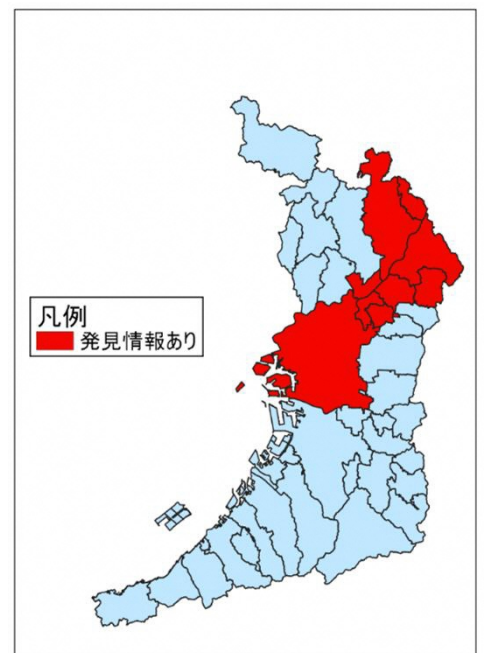
- ・茎の長さは0.5～1.0m以上になる。
- ・葉の長さは2.5～5.0cm、幅0.7～2.0cmで対生となる。
- ・夏から秋にかけて小さな花が集まって直径12～16mmの球状の白い花穂を形成する。
- ・河川や池沼、水路、湿った畑地などに生育する。
- ・根が水底にある1年生～多年生の植物である。
- ・長期間の乾燥に耐えられ、陸上植物としても生育できる。
- ・茎の切片による栄養繁殖が極めて盛んで、生長が速い。

どんな影響？

- ・河川や水路周りで繁茂した植物体が通水を阻害することや、植物体が大雨の際の増水等の影響により切断・流下し、河川や水路等の通水を阻害・閉塞する。
- ・また、用排水機場の取水・排水時の障害、除塵機やポンプ等への負荷や詰まりにより、処理労力やコストが増大する。
- ・水田や畑で繁茂し、作物と競合し収量に影響する。
- ・在来の水生植物との競合し、駆逐する。
- ・ため池などで繁茂し水面を覆い、遮光して他の水生植物の生育を阻害することや、水の中にある酸素濃度が低下させて魚類や水生昆虫などの生息環境を悪化させる。

見つけたらどうすればいいの？

発見時には、管理者へ連絡してください。除去する際は、茎は千切れやすく、節から活発に再生するため破片が残らないように、また根を残さないようにし、除草剤の使用も検討してください。



もっと詳しく教えて！

ツルノゲイトウ属で、花穂をつける茎の部分が長い「長い柄」のことが名前の由来となっています。

23.ミズヒマワリ

原産：中央・南アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害 

生態系被害 

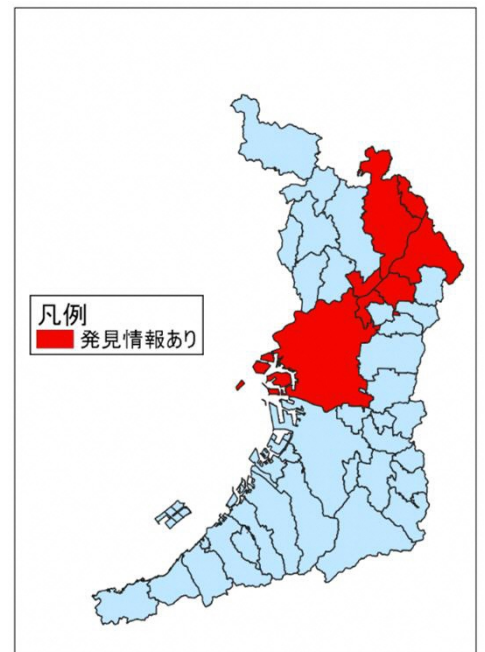
- ・高さ0.5～2.0m以上になる。
- ・葉は対生し、長さ20cm程度で根元の方で幅が広く、先に行くに従って細くなり、先端は尖る。
- ・100～150個の白い小さな花がまってできた直径6～10mmの丸い花を茎の先につける。
- ・河川や水湿地の水中や水際に生育する。
- ・水中から水の上に伸びる根が水底にある多年草である。
- ・両性花で種子からの発芽による繁殖もあるが、栄養繁殖が非常に盛んで、ちぎれた茎などから根を出して生長する。
- ・短期間で大きなマット状の塊を作る。

どんな影響？

- ・生育場所で繁茂し水面を覆うことで、水路や河川の水流を妨げたり、在来の水草を駆逐する。
- ・また、遮光してほかの水生植物の生育を阻害することや、水の中にある酸素濃度が低下させて魚類や水生昆虫などの生息環境を悪化させる。

見つけたらどうすればいいの？

発見時には、管理者へ連絡してください。また、草刈等実施時には、併せて除去してください。除去する際は、種子が飛散しないように、また根を残さないようにしてください。なお、詳しい除去方法は大阪府ホームページのオオキンケイギクの除去方法を参照してください。



もっと詳しく教えて！

ミズヒマワリという名前は葉の形状がヒマワリの葉に似ていることに由来します。

24.オオフサモ

原産：南アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害 

生態系被害 

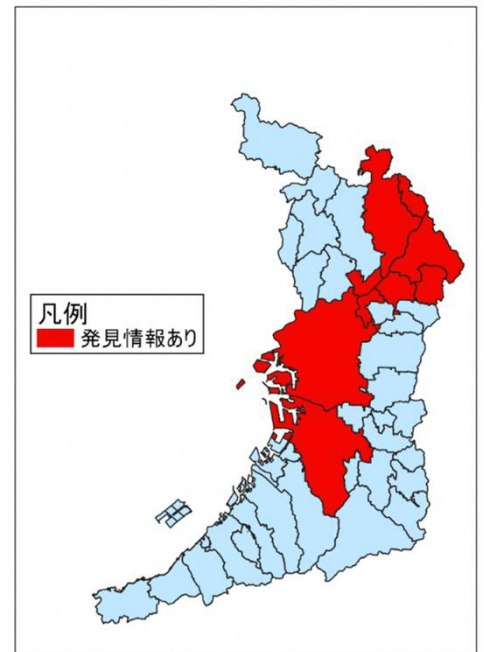
- ・ 茎は水中を枝分かれしながら、長さ1m以上になる。
- ・ 葉は鳥の羽のような形（羽状葉）が、茎の節に5～6枚ずつ、車輪状についている。
- ・ 花は空気中に広がった葉の脇に1個ずつつく
- ・ 湖沼、河川、池、水路や休耕田に生育する。
- ・ 水中から水の上に伸びる根が水底にある多年草である。

どんな影響？

- ・ 過繁茂した群落が水面を覆うことで、水路や河川の水流を妨げたり、在来の水草と競合して駆逐する。
- ・ また、遮光してほかの水生植物の生育を阻害したり、水の中にある酸素濃度が低下させて魚類や水生昆虫などの生息環境を悪化させる。

見つけたらどうすればいいの？

発見時には、管理者へ連絡してください。また、ため池や水田の中干し等を行う時に併せて除去してください。除去する際は種子が飛散しないように、また根を残さないようにしてください。



もっと詳しく教えて！

雌雄異株ですが、日本では雌株のみで種子生産は確認されていません。地下茎で繁殖します。おもに根茎で越冬します。

海外でも侵略的な外来種とされ、水路の水流を阻害して問題になっており、オーストラリアでは、持ち込み禁止植物とされています。

25.エフクレタヌキモ

原産：南北アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害

生態系被害



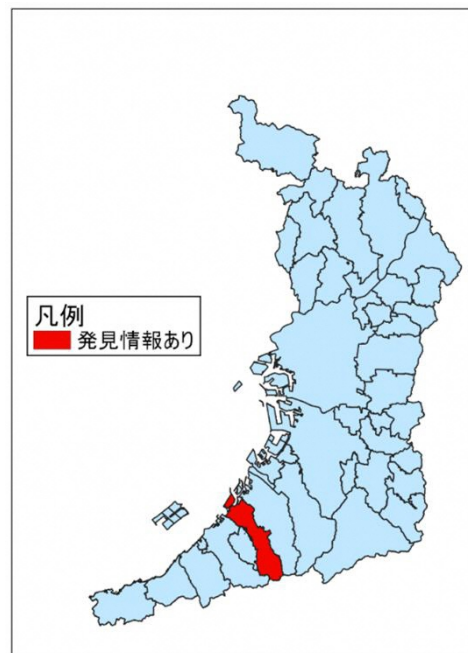
- ・茎は径0.5～2.0mmの茎を盛んに分枝し、繁茂する。
- ・葉は長さ2～10cm、水中で基部から2個の小葉に分かれ、複数回分枝するとともに放射状に輪生する。
- ・花は黄色で長さ1.5～2.5cm、基部は膨らんで2裂し、赤褐色の模様がある。
- ・湖沼、池などに生育する。
- ・根が水底にある食虫植物である。

どんな影響？

- ・過繁茂した群落が水面を覆うことで、他の在来水生植物と生育場所を巡って競合することや、近縁の在来種との交雑の危険性が危惧されている。

見つけたらどうすればいいの？

現在判明している分布域が限られているため、情報を収集中であり、目撃した場合は管理者へ連絡してください。除去する際は種子が飛散しないように、また根を残さないようにしてください。



もっと詳しく教えて！

タヌキモの種類は、葉に捕虫囊（ほちゅうのう）を付けて、水中の小さな生き物を捕まえて栄養分として吸収します。名前は茎の先の膨らみ（柄膨れ）に由来します。

26.アレチウリ

原産：北アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)



健康被害

農林水産業被害 

生態系被害 

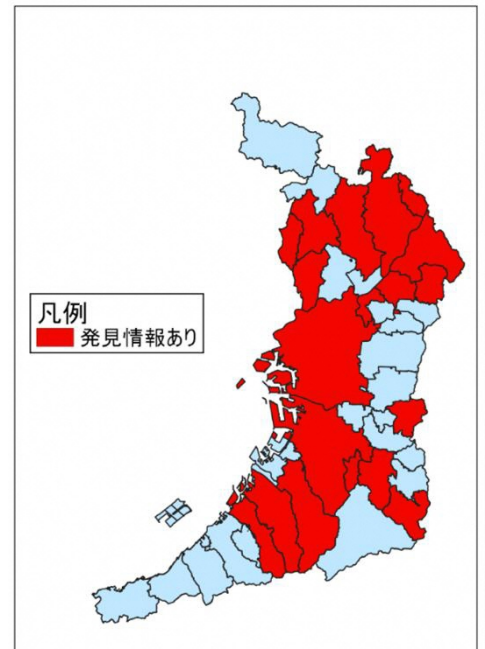
- ・茎は粗い毛を密生したつるで、巻きひげは3つに分かれ、他の物に巻きつく。全体の長さが数～十数mになる。
- ・葉は直径が10～20cmで、浅く裂け、つけ根はハート形にくぼむ。葉の縁には目立たないが鋸歯がある。葉の表も裏もざらざらしている。
- ・花は8～10月。雄花と雌花が別々に集まって直径1cm程の黄白色の花序を形成し、葉の脇から出る。
- ・果実は長さ1cm程の楕円形で鋭い棘を持つ。
- ・林縁、荒地、河岸、河川敷、路傍、原野、畑地、樹園地、造林地などの日当たりの良い場所に生育する。
- ・ウリ科の一年生草本で、生育速度が非常に速いつる性植物である。

どんな影響？

- ・河川敷で大繁茂した場合に、在来植物と競争し、駆逐している。

見つけたらどうすればいいの？

発見時には、管理者へ連絡してください。また、草刈等実施時には、併せて除去してください。冠水する場所には生育しないため、意図的に冠水する場所を設けることで侵入を防止できるとされています。除去する際は種子が飛散しないように、また根を残さないようにしてください。なお、詳しい除去方法は大阪府ホームページのオオキンケイギクの除去方法を参照してください。



もっと詳しく教えて！

アメリカやカナダからの輸入大豆に種子が混入し、拡大したといわれています。他府県では飼料畑で大発生して農業被害が生じています。

27.オオキンケイギク

原産：北アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害

生態系被害



- ・茎は高さ30～70cmで、根元付近から束状に多数生える。
- ・葉は細長いへら状で、生長が進むにつれて3～5枚の小葉に分裂する。
- ・両面とも粗い毛がある。
- ・花は5～7月で、他のキク科植物と同様、小さな花が多数集まって直径5～7cmの一つの花のような形をしている。
- ・路傍、河川敷、線路際、海岸など、日当たりの良い所に生育する。
- ・キク科の多年生草本。

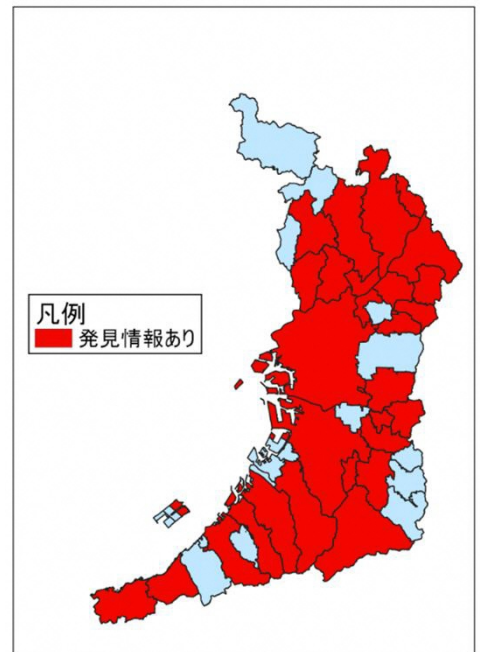
どんな影響？

- ・河川敷や道路にしばしば大群落をつくり、下層の光環境の悪化などにより、河原特有の在来の植物を駆逐したり、生態系への影響が危惧されている。

見つけたらどうすればいいの？

発見時には、管理者へ連絡してください。また、草刈等実施時には、併せて除去してください。除去する際は種子が飛散しないように、また根を残さないようにしてください。花がきれいだからといって持ち帰らないでください。なお、詳しい除去方法は大阪府ホームページのオオキンケイギクの除去方法を参照してください。

大阪府 オオキンケイギク



もっと詳しく教えて！

かつてワイルドフラワー緑化（遊休地、未利用地、新規造成地等に草花の種子をまいて修景を行うもの）で最も多く使われたものの一つでした。道路の法面緑化等に近年大量に使用していたとされています。

28.オオハンゴンソウ

原産：北アメリカ

どんな生き物？



群落



(写真提供：長谷川匡弘氏)

健康被害

農林水産業被害

生態系被害



- ・茎は、地下茎があり、そこから地上に伸びた茎は、上部で枝分かれして、高さ1～3mになる。茎の表面にはまばらに短い毛があるか無毛である。
- ・葉は下の方の葉には長い柄があり、上の方の葉の柄は短いか無い。葉は互生し、葉の裏にのみ短い毛があり、羽状に5～7裂している。
- ・開花期は7～10月で他のキク科植物と同様、小さな花が多数集まって直径6～10cmの一つの花のような形をしている。
- ・路傍、荒地、畑地、湿原、河川敷に生息する。
- ・キク科の多年生草本で地上部が枯れたり、刈り取られても残った地下茎から茎を出して再生できる。

どんな影響？

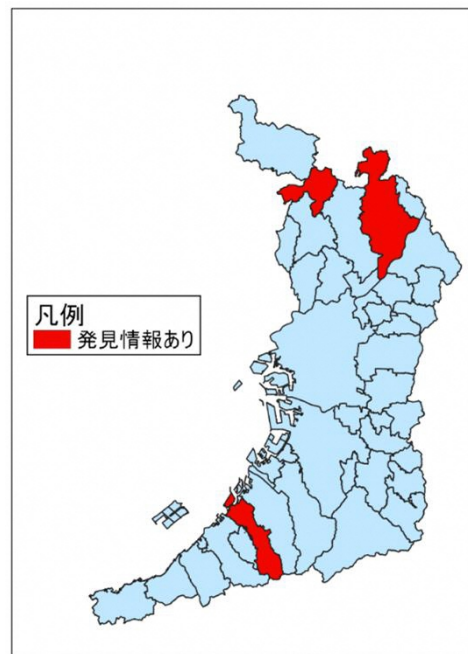
- ・大発生すると、旺盛な繁殖力から在来の植物を駆逐し、減少させる恐れがあるとされている。

見つけたらどうすればいいの？

発見時には、管理者へ連絡してください。また、草刈等実施時には、併せて除去してください。除去する際は種子が飛散しないように、また根を残さないようにしてください。花がきれいだからといって持ち帰らないでください。なお、詳しい除去方法は大阪府ホームページのオオキンケイギクの除去方法を参照してください。

もっと詳しく教えて！

道路の法面などでの発生場所では管理者による定期的な管理時の除去が行われている場所もあります。日本には最初、観賞用に導入され、ワイルドフラワー緑化（遊休地、未利用地、新規造成地等に草花の種子をまいて修景を行うもの）で使われました。自然公園内の湿原や溪畔林で分布の拡大が問題となっています。



29.ナルトサワギク

原産：マダガスカル

どんな生き物？



群落



(写真提供: (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害



生態系被害



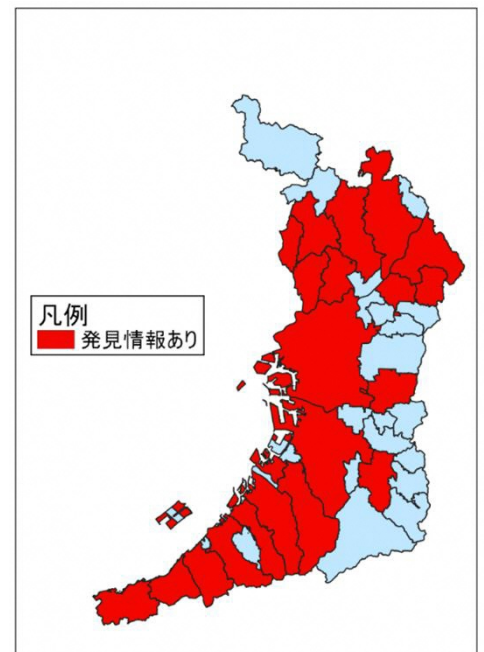
- ・茎は地際で横に倒れ、多数枝分かれして大きな株を作りながら直立し、高さ30～70cmになる。
- ・葉は互生し、長さ3.0～9.0cm、幅1.0～1.5cm細長くて先の方がとがる。縁に鋸歯がある。
- ・開花はほぼ一年中で、他のキク科植物と同様、小さな花が多数集まって直径2.0～2.5cmの黄色の一つの花のような形をしている。
- ・海辺の埋立地、空地、路傍、河川など日当たりの良い場所に生育する。
- ・キク科の一年生または多年生草本であり、生長段階の早い時期でも開花結実する。

どんな影響？

- ・急速に分布を拡大しているため、在来の植物と競合し、駆逐する恐れがある。
- ・また、アルカロイドの一種であるセネシオニンやセネシオフィリンなどを含むため、草食動物に対して有毒であるため、牧草地での発生は、畜産業に影響を与える。

見つけたらどうすればいいの？

発見時には、管理者へ連絡してください。また、草刈等実施時には、併せて除去してください。除去する際は種子が飛散しないように、また根を残さないようにしてください。花がきれいだからといって持ち帰らないでください。なお、詳しい除去方法は大阪府ホームページのオオキンケイギクの除去方法を参照してください。



もっと詳しく教えて！

緑化資材の種子に混入して広がったと考えられています。道路の法面などでの発生場所では管理者による定期的な管理時の除去が行われている場所もあります。オーストラリアやハワイ諸島でも大繁茂して問題となっているとされています。

30.オオバナミズキンバイ

原産：南北アメリカ

どんな生き物？



群落



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害

生態系被害



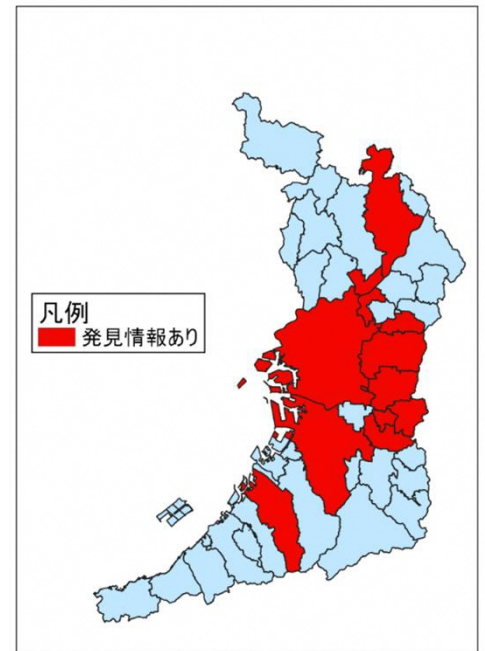
- ・茎の高さは**0.3～0.8m**、水中、水上に密生する。
- ・葉は楕円形で毛が多く生えている。
- ・花は**6～10月頃**に直径**4cm**程度のものをつける。
- ・湖や池に生育する。
- ・水生の多年草。水上と水中マット状に厚く繁茂する。
- ・葉や茎の切れ端からでも再生するほどの驚異的な繁殖力を持っている。

どんな影響？

- ・近縁種と交雑や遺伝的攪乱を引き起こす可能性がある。
- ・また、水面を覆うことにより、他の植物の生育を阻害したり、水中の密生した茎は、水の流れを阻害するとされており、水利施設に侵入すれば、通水障害などを起こすおそれがある。水上の繁茂は水鳥の採餌場所である開放水面を狭くするとされている。

見つけたらどうすればいいの？

発見時には、管理者へ連絡してください。また、草刈等実施時には、併せて除去してください。除去する際は種子が飛散しないように、また根を残さないようにしてください。なお、詳しい除去方法は大阪府ホームページのオオキンケイギクの除去方法を参照してください。



もっと詳しく教えて！

海外では、船の航行の障害となるとともに、川の流速が低くなると、有機物が滞留してこれを分解する微生物が大繁殖するため、水の中にある酸素濃度が低下することにより魚が死滅し、漁業に悪影響を及ぼしているとされています。

31.オオカワヂシャ

原産：ヨーロッパ～アジア北部

どんな生き物？



(写真提供: (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害

生態系被害



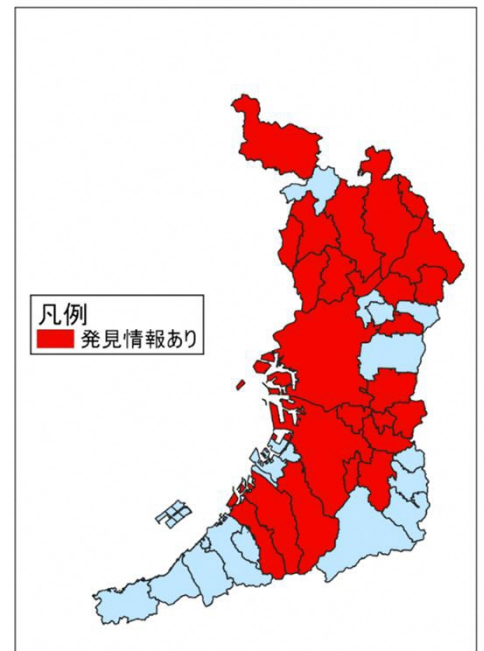
- ・茎は地下茎から、茎を伸ばして高さ**0.3～1.0m**になる。
- ・葉は対生し、葉の形は長い楕円形か、先端に向かって細くなっていく形状で、長さ**3～7cm**、幅**1～2cm**、裏にも表にも毛は無い。
- ・花は**4～9月**に直径**5mm**の淡紫色の花をつける。
- ・湖、沼、河川の岸边、水田、湿地に生育する。
- ・在来種のカワヂシャには先がやや尖った鋸歯がある。
- ・多年草で、種子は、風、雨、動物などにより伝播される。

どんな影響？

- ・近縁の在来種カワヂシャと生育場所などを巡り、競合、駆逐する。
- ・また、交雑し、発芽能力のある種子を生産できる雑種ホナガカワヂシャを形成するなど遺伝的攪乱が懸念されている。

見つけたらどうすればいいの？

発見時には、管理者へ連絡してください。また、草刈等実施時には、併せて除去してください。除去する際は種子が飛散しないように、また根を残さないようにしてください。なお、詳しい除去方法は大阪府ホームページのオオキンケイギクの除去方法を参照してください。



もっと詳しく教えて！

近縁の在来種のカワヂシャはやや薄い色の花をつける場合が多い点で区別できます。また、カワヂシャの葉は鋸歯（葉の縁のトゲのような部分）が大きく、はっきりしていることでも区別できます。

32. ボタンウキクサ

原産：アフリカ

どんな生き物？



群落



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害 

生態系被害 

- ・茎は短く、根は羽毛状で水中に垂れ下がる。
- ・葉は水面上で平たく放射状に広がる。ビロード状の短い毛を密生して水をはじく。葉の長さは**30cm**に達し、丸みを帯びた扇型となる。
- ・花は5～**10月**に葉のつけ根に、長さ**5mm**ほどの黄緑色で咲くが、小さくて目立たない。
- ・池沼、河川、水田、水路などに広く生育し、耐塩性もある。
- ・浮遊性の常緑多年草。繁殖は横に這う茎の先に子株を生じる無性生殖と種子からの発芽の両方があるが、無性生殖による繁殖が旺盛である。
- ・冬季の水温が**15～20℃**以上ないと衰弱して枯れることが多いとされるが、平均水温**12℃**程度なら子株の形成が可能との報告がある。

どんな影響？

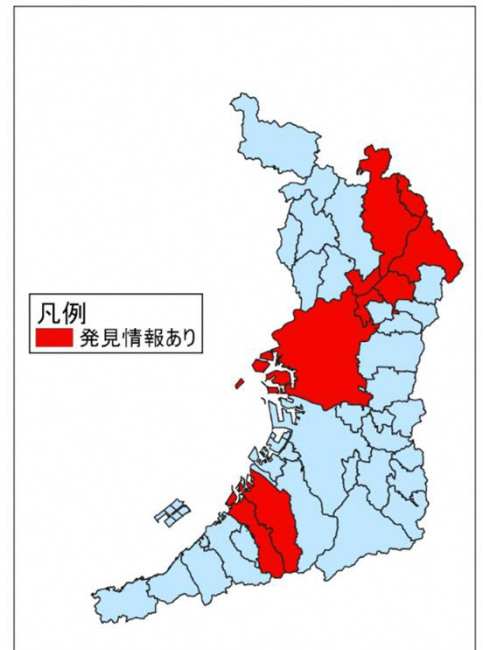
- ・日本を含む世界各地の水路や湖沼の水面で大繁茂し、水面を遮光して他の植物の光合成を阻害し、水中の酸素不足や水温や水質低下を招き、生物の生息・生育環境の悪化の原因となっている。
- ・また、水路の通水障害も引き起こす。

見つけたらどうすればいいの？

発見時には、管理者へ連絡してください。また、ため池や水田の中干等を行う時に併せて除去してください。除去する際は種子が飛散しないように、また根を残さないようにしてください。繁殖地からの持ち出しもしないでください。

もっと詳しく教えて！

もともとは観賞用に導入されました。牡丹の花に形が似ていることから名前がつけられました。ウォーターレタスとも呼ばれることがあります。淀川などでは一部の場所で管理者により駆除が行われています。



33. ミシシippアカミミガメ

原産：南北アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害



農林水産業被害



生態系被害



- ・成長するとオスは甲羅の長さが**20** cm、メスは **28**cmになる。
- ・目の後方に帯状の赤い斑がある。
- ・子ガメの甲羅は黄色または黄緑色で、赤や黄の斑紋がある。成長すると甲羅は暗い緑色になる。
- ・河川や池沼、湖と広く分布している。
- ・雑食性で藻類や水草、昆虫類、節足動物、甲殻類、魚類、両生類など、さまざまなものが餌となる。
- ・産卵は**5～7**月に陸地で行われ、産卵数は**1**回の産卵で**2～23**個、**1**年で**2～3**回産卵する。
- ・飼育下では**40**年以上飼われた個体もある。

どんな影響？

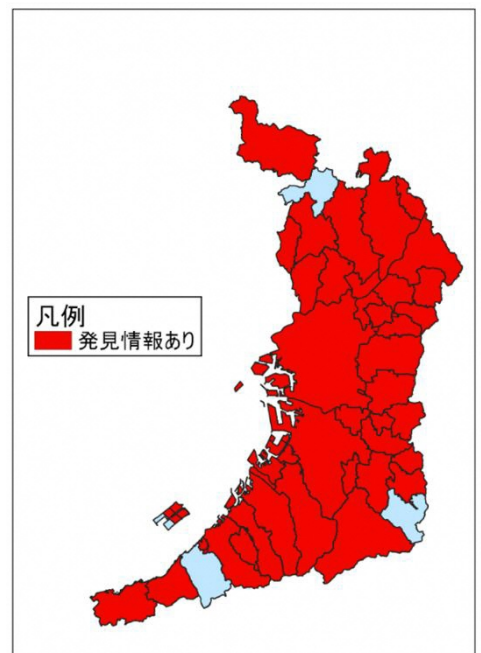
- ・在来のニホンイシガメやニホンスッポンと食物や生息場所が競合するため、駆逐されることや、水生植物の食害による減少、農作物（レンコン等）の被害がある。
- ・また、大きな個体は攻撃的で、噛みつかれたり爪で引っ搔かれて怪我をすることがあり、爬虫類を感染源とするサルモネラ感染症の事例も知られている。

ミシシippアカミミガメとのつきあい方

捕獲した個体を飼育することは可能ですが、飼育した場合は死ぬまで飼育し続けることとなります。なお、飼育しているものを野外に放すことや、販売を行うことは法律で**2023年6月1日**より禁止されています。

もっと詳しく教えて！

詳しくは



1950年代後半から「ミドリガメ」の通称でペットとして輸入されました。その後、飼育されていた個体が野外に放たれることにより、現在全国に分布しています。環境省で**2019**年に全国を対象に実施した統計解析によると、野外に生息するアカミミガメは約**930**万個体とされ、生息に適した地域が多いところとして大阪平野が挙げられています。なお、環境省に、規制の内容や飼育等に関する相談ダイヤルがあります。

34.アメリカザリガニ

原産：北アメリカ

どんな生き物？



(写真提供：(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

健康被害

農林水産業被害



生態系被害



- ・全長が通常9cm程になり、最大で15cmとなる。
- ・成体は赤～赤褐色、若齢個体は、淡褐色、黄褐色、緑泥色などになる。
- ・寿命は4～5年とされる。
- ・田んぼ、用水路、池沼など止水域に生息する。
- ・雑食性で、水草、魚、両生類、水生昆虫類と色々なものを捕食する。
- ・繁殖期は夏で、メスは直径2mmほどの卵を数百個産み、腹脚に抱えて保護する。

どんな影響？

- ・摂餌により在来の水生植物が失われる。その結果として水生動物の生息環境が失われたり、富栄養化が生じて、植物プランクトンの異常繁殖をもたらし、水生生物相が大きく改変され、生態系の構造が劇的に変化する。
- ・また、アメリカザリガニが媒介する病原菌によって、在来の甲殻類の感染リスクが高まる。
- ・水田に巣穴を掘ることにより水田漏水を引き起こしたり、水田の畦に巣穴を掘って崩壊させたりする他、水稲を摂食するなどの被害を及ぼす。



アメリカザリガニとのつきあい方

捕獲した個体を飼育することは可能ですが、飼育した場合は死ぬまで飼い続けることとなります。なお、飼育しているものを野外に放すことや、販売を行うことは2023年6月1日より法律で禁止されています。詳しくは

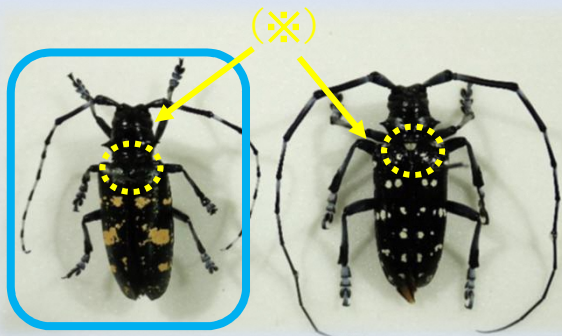


もっと詳しく教えて！

米国から養殖用のウシガエルのエサとして1927年に輸入された27匹が始まりといわれています。その後、養殖された個体が野外に逃げ出して、現在全国に分布しています。なお、環境省に、規制の内容や飼育等に関する相談ダイヤルがあります。

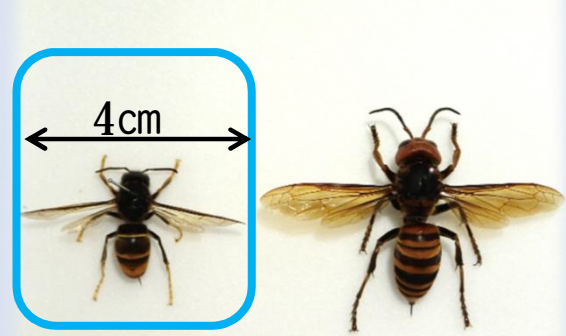
【参考】これから大阪府内に侵入する可能性のある外来生物

ツヤハダゴマダラカミキリ



ツヤハダゴマダラカミキリ ゴマダラカミキリ

ツマアカスズメバチ



ツマアカスズメバチ オオスズメバチ

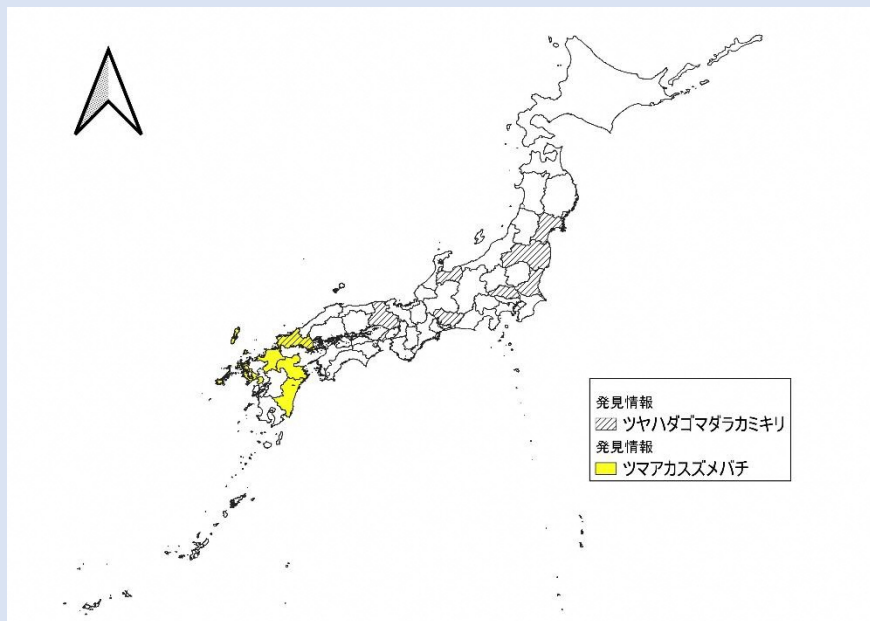
(写真提供: (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所)

特定外来生物ではありませんが、世界の侵略的外来種外来種ワースト100に指定されている中国が原産の外来昆虫です。日本固有のカミキリムシであるゴマダラカミキリに非常によく似ていますが、頭の下に白い紋がない点(※)等で区別できます。

公園の樹木や街路樹として植えられている様々な木に幼虫が侵入します。神戸市では特にアキニレを中心に好んで食害しており、食害された樹木は弱って枯死する場合があります。

2012年に対馬に侵入したとされている外来種のスズメバチで特定外来生物にも指定されています。主に昆虫類(ミツバチを含む)を捕食し、樹木の高い位置に営巣することが多いです。

また、在来スズメバチよりも大きな巣をつくるといわれています。他のハチ類同様、刺されると、体質などによってはアナフィラキシーショックを起こす場合があります。



この2種についての現在の位置情報を日本地図に表示してみました。

○ツヤハダゴマダラカミキリは8県で確認されています。

○ツマアカスズメバチは5県で確認されています。

どちらも大阪府に侵入すると様々な被害が発生する事が予測されるため、侵入の予防とともに、発見時には早急な情報提供が、早期対策のため重要となります。これには府民の皆さんの協力も必要ですのでよろしくお願いいたします。

分布図作成に参考にした資料

【全体】

- ・市町村アンケート（R4年度）
- ・いきものコレクションアプリ『バイオーム』による生きもの調査記録（2019年4月から2022年9月）

【個別】

- (1.アライグマ) (1)
- (2.ヌートリア) (2)
- (3.クリハラリス) (3, 4, 5)
- (4.ソウシチョウ) (5, 6)
- (5.カミツキガメ) (7, 8, 9)
- (6.ウシガエル) (10, 11)
- (7.チャネルキャットフィッシュ) (12)
- (8.コクチバス) (12)
- (9.オオクチバス) (5, 12, 13)
- (10.ブルーギル) (5, 13)
- (11.アリゲーターガー) (5, 12, 14)
- (12.カダヤシ) (5, 13)
- (13.クビアカツヤカミキリ) (15)
- (14.ハヤトゲフシアリ) (16)
- (15.アルゼンチンアリ) (17)
- (16.アカカミアリ) (18)
- (17.ヒアリ) (19)
- (18.セアカゴケグモ) (20, 21)
- (19.ハイイロゴケグモ) (22)
- (20.カワヒバリガイ) (23)
- (21.アゾラクリスタータ) (24)
- (22.ナガエツルノゲイトウ) (24)
- (23.ミスヒマワリ) (25, 26)
- (24.オオフサモ) (24, 26, 27)
- (25.エフクレタヌキモ) (28)
- (26.アレチウリ) (26, 27, 29, 30, 31, 32)
- (27.オオキンケイギク) (27, 29, 30, 32, 33, 34)
- (28.オオハングウソウ) (31, 35)
- (29.ナルトサワギク) (27, 30, 31, 32, 34, 36, 37, 38, 39)
- (30.オオバナミズキンバイ) (40)
- (31.オオカワヂシャ) (26, 29, 30, 31, 32, 41)
- (32.ボタンウキクサ) (24, 25, 31)
- (33.ミシシippアカミミガメ) (4)

- 1.第4期大阪府アライグマ防除実施計画（大阪府環境農林水産部動物愛護畜産課令和3年4月1日）
- 2.農業被害アンケート（大阪府立環境農林水産総合研究所実施_R3年度）
- 3.『大阪城への招待 Part2』秋山進午〔ほか〕著（大阪観光協会 1983）
- 4.『いのちの城・大阪城公園の生きもの:追手門学院創立120周年記念事業大阪城プロジェクト調査報告書』（追手門学院 2008.11）
- 5.第50回特別展「知るからはじめる外来生物」解説書（大阪市立自然史博物館 2020）
- 6.大阪府鳥類目録2016（日本野鳥の会大阪支部）
- 7.松木崇司・西堀智子・横田寿男・松井正文（2013）近畿地方における外来種カミツキガメの捕獲状況について（第16回自然系調査研究機関連絡会議発表資料）
- 8.高槻市農林緑政課ホームページ「カミツキガメにご注意ください」
- 9.from M 第21号（岸和田市郷土文化室（自然資料館・郷土資料館）平成17年9月）
- 10.貝塚市遊学館ホームページ「貝塚市の両生類」
- 11.大阪市立自然史博物館特別展「知るからはじめる外来生物」調査データ
- 12.川瀬成吾・石橋亮・内藤馨・山本義彦・鶴田哲也・田中和大・木村亮太・小西雅樹・上原一彦（2017）淀川流域における外来魚類の生息状況（保全生態学研究22: 199-212）
- 13.大阪府内河川に生息している魚類（第8回大阪府環境審議会水質部会（H28.4.26））
- 14.大阪市立自然史博物館特別展「知るからはじめる外来生物」報道発表資料
- 15.大阪府環境農林水産部みどり推進室みどり企画課都市緑化・自然環境グループホームページ「特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」に関するお知らせ」
- 16.上田昇平・村上協三（2022）大阪府における侵略的外来種ハヤトゲフシアリ（ハチ目アリ科）の記録（昆虫（ニューシリーズ）, 25(1): 33-36）
- 17.淀川自然画報2015年4月号 特定外来生物「アルゼンチンアリ」特集
- 18.環境省報道発表資料「大阪府内において確認されたアカカミアリについて」（平成29年6月26日）
- 19.環境省ホームページ「特定外来生物ヒアリに関する情報・ヒアリの全国確認情報」

- 20.大阪府健康医療部生活衛生室環境衛生課ホームページ「セアカゴケグモ等生息状況調査の結果について」
- 21.大阪府健康医療部池田保健所衛生課ホームページ「セアカゴケグモにご注意ください!!」
- 22.大阪市健康局健康推進部生活衛生課環境衛生グループホームページ「セアカゴケグモに注意しましょう!」
- 23.カワヒバリガイ被害対策マニュアル（農林水産省農村振興局農村環境課農村環境対策室 平成25年3月）
- 24.国土交通省近畿地方整備局平成22年度多自然川づくりの事例「淀川におけるボタンウキクサ対策について（淀川河川事務所）」
- 25.内藤馨(2010)淀川におけるミスヒマワリ *Gymnocoronis silanthoides* DC.の生育環境（雑草研究 Vol.55(3)187-193）
- 26.高槻市公園課ホームページ「津之江公園」
- 27.堺市の生物多様性保全上考慮すべき野生生物一堺市レッドリスト2015・堺市外来種ブラックリスト2015ーガイドブック（堺市環境局環境保全部環境共生課）
- 28.貝塚市遊学館 特別展「千石荘の自然Ⅱ」資料
- 29.史跡狭山池保存活用計画書（2017）
- 30.茨木市産業環境部環境政策課ホームページ「いばらきの外来生物」
- 31.貝塚市遊学館 自然遊学館だより No.63、2012
- 32.枚方市ふるさといきもの調査報告書（平成31年3月枚方市）
- 33.広報はびきの平成21年7月号
- 34.和泉市環境産業部環境保全課ホームページ「特定外来生物について」
- 35.豊能町観光協会ホームページ「とよのデジタル植物館」
- 36.ちきりアイランドの人工干潟における環境保全活動実践業務平成21年度報告書（きしわだ自然友の会干潟保全研究グループ）
- 37.箕面市みどりまちづくり部環境動物室ホームページ「外来種（植物）にご注意ください」
- 38.馬場玲子・村井和夫・本多麻衣（2010）ナルトサワギクの生活史（2010年度大阪府立環境農林水産総合研究所研究報告）
- 39.吹田市地域整備推進室（市街地整備グループ）ホームページ「佐井寺西土地区画整理事業」
- 40.横川昌史・高田みちよ・長谷川匡弘（2020）大阪府における特定外来生物オオバナミズキンバイ（広義）（アカバナ科）の現状（Bulletin of the Osaka Museum of Natural History, No.74 p.75-82）
- 41.志賀隆・大阪市立自然史博物館大和川水系調査グループ水生植物班（2008）大和川水系におけるカワチシャと外来植物オオカワチシャおよび雑種の分布（Bulletin of the Osaka Museum of Natural History, No.62 p.65-74）

参考資料

- ・特定外来生物等一覧（環境省ホームページ）
- ・特定外来生物の見分け方（同定マニュアル）（環境省ホームページ）
- ・あいちの外来種、移入種対策ガイドブック（愛知県環境局環境政策部 自然環境課野生生物グループホームページ）
- ・群馬県のコクチバスの現状と対策について（群馬県農政部蚕糸園芸課ホームページ）
- ・特定外来生物オオクチバス中国・四国版（環境省中国四国地方環境事務所野生生物課作成パンフレット）
- ・横須賀市外来生物マニュアル（横須賀市建設部自然環境共生課）
- ・アルゼンチンアリの見分け方（環境省中国四国地方環境事務所野生生物課作成パンフレット）
- ・特定外来生物・アルゼンチンアリについて（山口県自然保護課ホームページ）
- ・セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモにご注意ください（環境省外来生物対策室作成パンフレット）
- ・外来種が農業水利施設に及ぼす影響と対策（農林水産省ホームページ）
- ・ナガエツルノゲイトウに関するQ&A（未定稿令和4年1月農林水産省、環境省、農業・食品産業技術総合研究機構）
- ・アカミミガメ防除の手引き（2019年7月 環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室）
- ・アメリカザリガニ対策の手引き（2022年4月 環境省自然環境局野生生物課外来生物対策室）
- ・生物図鑑（独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所ホームページ）

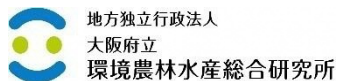
表紙について

大阪府で見られる特定外来生物であるアライグマ、クリハラリス、オオウチバス、オオキンケイギクをデザインしました。生き物自身に罪はなく、人間活動により連れてこられたり、追われたりすることに対する怒りを表しています。

発行



編集



大阪府環境農林水産部 みどり推進室 みどり企画課
〒559-8555 大阪市住之江区南港北1-14-16 咲洲庁舎22F
TEL : 06-6210-9557 FAX : 06-6210-9551

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター
〒572-0088 寝屋川市木屋元町10-4
TEL : 072-833-2770 FAX : 072-831-0229

令和5年6月発行